

第4期幡多地域アクションプランの進捗状況確認資料

幡 多 地 域 本 部

令和5年2月1日（水）

幡多地域アクションプランの進捗状況確認資料 (令和4年度第3四半期の実施状況と令和5年度の展開)

R5.2.1

幡多地域本部

1 地域アクションプランの令和4年度第3四半期の実施状況と令和5年度の展開（総括）

(1) 総評

令和4年度は、全44項目のアクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各種支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組みを進めてきた。

令和2年から続く新型コロナウイルスの感染拡大により、社会・経済活動において大きな影響を受けてきたが、行動制限の緩和、全国旅行支援等により観光需要が高まり入込客数が増加傾向にあるなど、明るい兆しも見えてきた。

しかしながら、原油価格や物価の上昇による原材料の高騰など、地域で経済活動を営む方々にとって厳しい状況は続いており、引き続き、社会・経済構造の変化に対応しつつ、地域経済の再生に向け取り組みを継続していく必要がある。

農業分野では、「ユズ」「直七」「ぶしゅかん」等の柑橘類の作付面積の拡大やブランド化、販売拡大を目指し、官民協働の取り組みを進めている。今年度は、直七を利用した缶チューハイや、四万十ぶしゅかんアイスが商品化されるなど、関係事業者と連携した加工品の開発においても一定の成果がみられた。

また、畜産関係では、西土佐地域の事業者が四万十牛のブランド化の取り組みを進めており、生産拡大を図るため畜舎・堆肥舎の整備を開始した。

引き続き、生産拡大、新たな加工品の開発、さらには、こうした資源を活用した観光誘客の促進に取り組んでいく。

水産業分野では、「メジカ」「ブリ」「タイ」「キビナゴ」等の加工品を中心として販路拡大に取り組んでいるほか、土佐清水市の「メジカ」や宿毛市、大月町の「養殖マグロ・ブリ・タイ」といった、地域の資源を活かしたクラスターの形成に向けた取り組みを進めている。

土佐清水市においては、コロナ禍による消費需要の低下に加え原料となるメジカの不漁が続く中、複数の事業者が、伝統的な節の製造だけでなく一般家庭向けの小売り商品の販売や体験観光の取り組みを強化し、売上や来店・交流者数を伸ばしている。

商工業分野では、黒潮町の2つの事業者が天日塩の増産に向け採かん施設の整備に着手した。これまで、需要の増加に対して生産が追いつかず販路拡大に結びつけることができなかったが、施設整備、雇用の増加により生産・販路拡大に向け取り組むこととしている。

また、三原村では、どぶろくの共同製造施設の整備に取り組んでいる。高齢化、コロナ禍により、個々の製造者（農家民宿等）単位では事業継続が困難になりつつある中、どぶろく文化を継承し、将来の販路拡大を図るため、新たな施設整備・販売機能の集約に取り組んでおり、来年度から新施設で製造を開始する予定となっている。

観光分野では、入込客等の誘客促進、滞在時間の延長を図るため、宿毛市の「サニーサイドパーク」、土佐清水市の「めじかの里土佐清水」が改修工事を行っており、来年度、オープン予定となっている。

幡多地域には、大月町柏島や四万十川など、自然・体験型観光の拠点が数多くあることに加え、春からは、NHKの連続テレビ小説「らんまん」の放送が予定されており、大月町や三原村などで草花ガイドプランを造成するなど、各地で受入体制の整備に取り組んでいる。

この機会を幡多地域全体の観光振興に活かすことができるよう、さらなる観光プランの造成、磨き上げ、情報発信などに取り組んでいく。

来年度は、四万十市で商工分野に新たに1項目の追加を予定しており、全45項目の地域アクションプランに関して実行支援チームを編成し、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいく。

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成度の基準について

指標	達成度の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

(注) Pの「目標」は、R5は第4期産業振興計画の目標、R2～R4はR5目標に向けての到達目標

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
農業	1 幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等の推進 (宿毛市) 【実施主体】 ◎・(有)成田果樹園	売上高 5,420万円 (H30)	R2	6,500万円	5,400万円	C	1 新事業の展開 ・新商品の開発 ・新商品のプロモーション活動 2 既存商品の販路拡大 ・新規販路開拓の検討	1 新事業の展開 ・新商品の開発 はるか(柑橘類)を使った無添加100%ジュース販売開始 1品(4月～) うんしゅうみかんのジュースを自社で試作 市内洋菓子店がベルガモットを使ったスイーツを販売開始 ・SNSやホームページでの新商品の情報発信 ・教育旅行(収穫体験)の受け入れ準備 (幡多広域観光協議会によるモニターツアーの実施) 2 既存商品の販路拡大 ・商談会への参加 1回 「まるごと高知」商談会(四万十市、4/21)	-	-	(成果) ・新たな加工品の開発 1品 製造分を完売 (課題) ・加工用文旦の新たな搾汁施設の確保 ・ピーターの高齢化 (今後の方向性) ・搾汁加工委託先の発掘 ・新規顧客の獲得 商談会への参加拡大など	1 新事業の展開 ・新たな加工委託先の選定 2 既存商品の販路拡大 ・商談成約率を高めるための研修受講
			R3	6,500万円	6,049万円	B						
			R4	7,000万円								
			R5	7,500万円								
農業	2 土佐極鶏あしずりキングの生産加工・流通・販売の推進 (土佐清水市) 【実施主体】 ◎・(株)足摺農園 ・土佐清水市	あしずりキング 生産羽数 1,950羽 (H30)	R2	4,982羽	2,485羽	D	1 流通・販売の拡大 ・営業活動の強化・販路拡大 県内外の商談会に出展 ・卸事業者との取引再開に向けた協議 卸事業者の在庫削減 ・商談会等への参加により赤鶏の販売強化 2 生産(肥育)体制の向上 ・肥育マニュアル、赤鶏飼育に関する指導 3 加工処理体制の強化 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得	1 流通・販売の拡大 ・既存卸事業者への働きかけ ・品種をブロイラーから地鶏系へ変更し、飼育開始(6月～) ・作業部会の開催(7/19) ・商談及び商談会参加(計5件) NAGOYAフードビジネスショー ほか ・市内及び高知市飲食店等への出荷(9月～) 2 生産(肥育)体制の向上 ・品種をブロイラーから地鶏系へ変更し、飼育開始(再掲) ・秋出荷を目標に40羽/月の飼育開始(7月～) ・肥育マニュアルの作成、技術的支援の継続 3 加工処理体制の強化 ・経営改善を優先し、HACCP取得の取組は未対応	220羽 (R4.4月～12月)	D	(成果) ・品種の変更による販路の拡大 ・商談成立2件(地鶏系) 9月から出荷開始 4件商談中(11月末時点) (課題) ・新たな品種での販路拡大 ・在庫不足 ・ブランド化 ・衛生管理の向上 (今後の方向性) ・新たな品種(地鶏)のPR ・商談会等への参加 ・在庫の確保 ・市内事業者への営業 ・HACCP取得への取組の推進	1 流通・販売の拡大 ・営業活動の強化・販路拡大 県内外の商談会に出展 2 生産(肥育)体制の向上 ・鶏舎移転、規模拡大の検討 ・肥育マニュアル、地鶏飼育に関する指導 3 加工処理体制の強化 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 ・鶏舎移転後の運営方法の検討
			R3	5,040羽	1,952羽	D						
			R4	7,438羽								
			R5	7,438羽								
		あしずりキング 加工 出荷額 519万円 (H30)	R2	1,440万円	1,361万円	B						
			R3	2,286万円	1,083万円	D						
			R4	3,375万円								
			R5	3,375万円								
								89万円 (R4.4月～12月)	D	・R4目標達成率：3.5% ・対前年同期比：13.6% ※コロナ禍による卸業者との取引休止		

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
農業	3 四万十ぶしゆかんの産地形成とブランド化 (四万十市) 【実施主体】 ◎・四万十ぶしゆかん生産者組合 ◎・四万十ぶしゆかん(株) ・四万十市	栽培面積	R2	1,266a	1,727a	S	1 生産体制の強化 ・市苗木補助メニューの継続活用 ・ぶしゆかん栽培現地検討会での栽培管理指導、巡回指導 2 加工品製造体制の強化 ・HACCP新第2ステージ認証取得 3 販路拡大 ・メディアを活用した認知度向上 ・イベント、商談会への出展 ・ぶしゆかん解禁祭の開催(8月) ・青玉出荷の拡大 ・商品開発	1 生産体制の強化 ・市苗木補助メニュー、産地化推進人員補助メニュー活用(通年) ・ぶしゆかん栽培現地検討会での栽培管理指導、巡回指導(通年) ・ぶしゆかん栽培マニュアルの見直し 2 加工品製造体制の強化 ・HACCP新第2ステージ認証取得(R4年度中に申請予定) 3 販路拡大 ・メディアを活用した認知度向上 フジテレビ(めざましどようび)、dancyu 特集記事 など ・イベント、商談会等への出展(計7件) まるごと高知商談会 ほか ・青玉出荷の拡大 出荷基準の統一(講習会の開催ほか) 県内スーパーマーケット等での販売(計3回) ・商品開発 四万十ぶしゆかんアイスクャンデーの販売開始(久保田アイス 4月) 四万十ぶしゆかんグミの販売開始(JA全農 11月) 菊水酒造との商品開発	-	-	(成果) ・新商品の販売開始 四万十ぶしゆかんアイスクャンデー 四万十ぶしゆかんグミ (課題) ・生産体制の強化 ・認知不足 ・衛生管理の向上 ・青玉出荷の拡大 鮮度維持と収穫量の確保 (今後の方向性) ・ぶしゆかん栽培マニュアルの見直し ・自社商品、他企業とのコラボ商品の開発 ・HACCP新第2ステージ認証取得 ・イベント等での青玉や自社商品の販売	1 生産体制の強化 ・市補助事業の継続活用 苗木補助メニュー 有害鳥獣対策用防護柵 設置費補助メニュー ・栽培管理指導、巡回指導 (ぶしゆかん栽培現地検討会等) 2 加工品製造体制の強化 ・HACCP新第2ステージ認証取得 3 販路拡大 ・イベント、商談会への出展 ・青玉出荷の拡大 ・商品開発
			R3	1,970a	1,848a	B						
			R4	2,170a								
			R5	2,506a								
		生産量	R2	31,924 kg	29,074 kg	B	1 ヌズ産地の確立 ・青果出荷体制の強化 選果出荷運営協議会の実施 ・新規就農希望者の確保・育成 研修生の研修体制の充実 県内外での情報提供・PR活動等 (Web活用を含む)による研修生の確保 新規就農者の経営安定のための栽培・経営管理指導 ・村民参加の収穫体制づくり 2 青果率の向上 ・農業公社の生産性の向上 栽培技術と作業効率の向上 (収量・青果出荷量の向上) アグリノートによる労力とコストの適正管理支援	1 ヌズ産地の確立 ・青果出荷体制の強化 選果出荷運営協議会の開催 繁忙期の作業量軽減(小袋出荷を12月以降に変更) ・新規就農希望者の確保・育成 研修体制の強化 研修生をWeb(村のHPを活用)で募集 就農希望者への農業体験実施(5月 1名) 新規就農者の育成(現地及び集団指導) ・村民参加の収穫体制づくり 関係機関協議会の開催 要綱、募集チラシ、収穫マニュアルの作成 ・農福連携による収穫作業の見学 ・収穫作業における現状・課題等の調査・分析 2 青果率の向上 ・農業公社の生産性の向上 栽培技術の向上(適期防除指導など栽培方針の検討) 作業進捗管理 防除作業	-	-	(成果) ・新規就農 指導農士1名確保 ・ユズ全体の栽培面積 51.4ha(対前年比100%) (うち公社33.8ha) ・公社のユズ生産量 (目標:200t 実績:107t(速報値) 対前年比59%) (課題) ・団地に応じた適正防除の実施 → 青果園の適期防除、最低限の薬剤投入 ・作業員の栽培技術向上と効率的な労力配分 ・収穫体制の構築 (今後の方向性) ・限られた資材費・労力を有効活用するため、青果用園と加工用園それぞれに応じた栽培管理を実施 ・村民参加の収穫体制の構築	1 ヌズ産地の確立 ・青果出荷体制の強化 選果出荷運営協議会 先進地視察等の実施 ・新規就農希望者の確保・育成 県内外での情報提供・PR活動等による研修生の確保 新規就農者への栽培・経営管理指導 ・村民参加の収穫体制づくり 村民等へ募集のPR及び説明会の実施 2 青果率の向上 ・農業公社の生産性の向上 収量・青果出荷量の向上 アグリノートによる労力とコストの適正管理支援
			R3	30,000 kg	31,573 kg	A						
			R4	40,000 kg	21,615 kg	D						
			R5	61,154 kg								
		32,592 kg (H30)						21,615kg (収穫期8~10月)	・R4目標達成率:54.0% ・対前年比:68.5% ※隔年結果の発生	D		
		農業	4 三原村ユズ産地化計画の推進 (三原村) 【実施主体】 ◎・(公財)三原村農業公社 ・JA高知県(幡多地区) ・三原村	青果出荷量(公社)	R2	42t	40.5 t	B	1 ヌズ産地の確立 ・青果出荷体制の強化 選果出荷運営協議会の開催 繁忙期の作業量軽減(小袋出荷を12月以降に変更) ・新規就農希望者の確保・育成 研修体制の強化 研修生をWeb(村のHPを活用)で募集 就農希望者への農業体験実施(5月 1名) 新規就農者の育成(現地及び集団指導) ・村民参加の収穫体制づくり 関係機関協議会の開催 要綱、募集チラシ、収穫マニュアルの作成 ・農福連携による収穫作業の見学 ・収穫作業における現状・課題等の調査・分析 2 青果率の向上 ・農業公社の生産性の向上 栽培技術と作業効率の向上 (収量・青果出荷量の向上) アグリノートによる労力とコストの適正管理支援	1 ヌズ産地の確立 ・青果出荷体制の強化 選果出荷運営協議会の開催 繁忙期の作業量軽減(小袋出荷を12月以降に変更) ・新規就農希望者の確保・育成 研修体制の強化 研修生をWeb(村のHPを活用)で募集 就農希望者への農業体験実施(5月 1名) 新規就農者の育成(現地及び集団指導) ・村民参加の収穫体制づくり 関係機関協議会の開催 要綱、募集チラシ、収穫マニュアルの作成 ・農福連携による収穫作業の見学 ・収穫作業における現状・課題等の調査・分析 2 青果率の向上 ・農業公社の生産性の向上 栽培技術の向上(適期防除指導など栽培方針の検討) 作業進捗管理 防除作業	-	-
R3	50 t				50t	A						
R4	60 t											
R5	61 t											
34.4 t (R元)												

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
林業	5 大月町内の持続可能な山林資源を活用した製炭業の推進 (大月町) 【事業主体】 ◎・大月町備長炭生産組合	生産量 112t (H30)	R2	120t	91.4t	C	1 生産力の向上 ・原木の搬出作業道の開設 ・ウバメガシモデル林の造成 ・コンテナ苗の増産 ・技術の向上に向けた研修会の開催 2 販路拡大 ・新たな販売先の開拓 3 広報活動 ・小学校等での製炭学習会の実施 ・植樹祭の実施	1 生産力の向上 ・ウバメガシの搬出作業道開設 (地域林業総合支援事業費補助金の活用) ・定期総会の実施 ・大月町有林でモデル林造成のための植栽 ・コンテナ苗の増産 ・技術の向上に向けた研修会開催(2回) 2 販路拡大 ・地元ホームセンター(マルニ)での販売 3 広報活動 ・道の駅大月での備長炭PR活動(6・7月) ・大月町産業祭への出店 ・地元農業高校生等を対象に植樹祭の実施	60.1t (R4.4月～11月) ・R4目標達成率:75.1% ※生産者の減 ・対前年同期比:123.7% ※R3は窯修理により生産量減	C	(成果) ・道の駅大月での備長炭PR活動による販売量増 (道の駅で1.0t販売) 対前年比173% ・研修会開催による生産技術向上 (課題) ・生産者の確保 ・生産量の安定と質の向上 ・安定的な原木の確保 (今後の方向性) ・新たな生産者の確保・育成 ・ウバメガシモデル林の造成、搬出道開設による原材料の確保	1 生産力の向上 ・原木の搬出作業道の開設 ・ウバメガシモデル林の造成 ・コンテナ苗の増産 ・技術の向上に向けた研修会の開催 2 販路拡大 ・新たな販売先の開拓 3 広報活動 ・道の駅大月での備長炭PR活動 ・小学校等での製炭学習会の実施 ・植樹祭の実施
			R3	120t	76t	D						
			R4	120t								
			R5	120t								
農業	6 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト (宿毛市) 【実施主体】 ◎・宿毛市 ◎・(一社)スタートアグリカルチャーすくも ・JA高知県(幡多地区) ・(一社)宿毛市観光協会 ・他関連事業者 ※地域産業クラスター関連(宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト)	イチゴ生産量 48t (H30)	R2	51t	50t	B	1 生産体制の強化 ・イチゴ農業研修生の確保及び研修の継続 新規研修生の受け入れ1名 ・研修生等の用地(ハウス)の確保 支援 ・公社卒業生への技術面でのフォローアップ ・健全苗の育成 ・フィンガータイム栽培管理技術の向上 ・文旦圃場の整備候補地の検討 ・文旦集出荷場の選果機の単純更新 2 商品開発 ・新たな加工品開発に向けた検討 ・対象を明確化した地域イベントの開催 ・観光農園の整備検討 3 推進体制の強化 ・プロジェクトチーム会・勉強会等の開催による情報共有・連携強化	1 生産体制の強化 ・研修希望者の相談対応 ・研修受け入れ1名(6月～) ・研修生の用地(ハウス)の確保 ・文旦圃場整備候補地の地権者に説明会実施 ・文旦集出荷場の選果機の更新方針の決定 2 商品開発 ・新たな加工品の開発1品 苺の松風焼き(和菓子) (販売元:創作割烹大松 製造:(株)N'sファクトリー) ・期間限定メニュー等の提供 イチゴを使ったスイーツを提供 (林邸カフェ、豆茶房、創作割烹大松の3店、4～5月) ・イチゴ生産者が観光農園を企画(1軒) 病気発生による生産量減に伴い中止 ・高知大学と連携したフィンガータイム成分分析の予備試験 ・直七の日(10/7)に絡めた認知度向上・消費喚起イベント 直七フェアの開催(10/7～31) 市内の事業者が直七を使った新商品・メニューを販売 直七アロマイベントの開催(10/7) 市内で直七果皮から精油を抽出するPRイベント実施 3 推進体制の強化 ・市と地域本部による情報共有の実施 2回	48t (R4.1月～10月) ・R4目標達成率:102.5% ・対前年同期比:101.5%	A	(成果) ・これまでの研修生4名全員が就農 イチゴ 3名 フィンガータイム 1名 ・新規研修生の採用1名(6月～) ・新たな加工品の開発1品 (苺の松風焼き) ・直七フェア参加店舗の増加 (R3:7→R4:16) (飲食店、製菓店) (課題) ・新規研修生の確保 ・研修生等のハウスの不足 ・フィンガータイム栽培管理技術の確立 ・観光農園の実施 (今後の方向性) ・新規研修生確保に向けた情報発信等の取組 ・宿毛市外でのハウス確保の検討 ・フィンガータイム栽培ノウハウの蓄積 ・観光農園の推進	1 生産体制の強化 ・イチゴ農業研修生の確保及び研修 ・研修生等の用地(ハウス)の確保 ・フィンガータイム栽培管理技術の向上 2 商品開発 ・観光農園の整備検討 3 推進体制の強化 ・市と地域本部による情報共有の実施
			R3	57t	52t	B						
			R4	57t								
			R5	63t								
		イチゴ生産者戸数 9戸 (H30)	R2	10戸	10戸	A						
			R3	13戸	13戸	A						
			R4	13戸								
			R5	15戸								
		文旦栽培面積 90ha (H30)	R2	90ha	90ha	A						
			R3	96ha	90ha	B						
			R4	96ha								
R5	96ha											

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
水産業	7 すくも湾漁協による水産物の加工・販売 (宿毛市) 【実施主体】 ◎・すくも湾漁業協同組合 ※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)	売上高 3,399万円 (H30)	R2	3,400万円	2,849万円	C	1 宿毛湾産の水産物を活用した商品開発および販路拡大 ・販売商品のラインナップの追加・削除、製造・販売数量の見直し ・既存販売先への安定供給、新規取引先の開拓 2 加工商品のPR ・県内イベント等への積極的な出店 3 未利用水産物の有効活用 ・管内で水揚げされるサメ類等を用いた1次加工商品の製造及び販売の継続実施 ・既存取引先に対する営業活動、新規取引先開拓	1 宿毛湾産の水産物を活用した商品開発および販路拡大 ・商品ラインナップの追加 食べたいちゃん(タイの干物) さばのみりん干し アジの干物 ・ふるさと納税返礼品への登録 宿毛湾のブリとマダイの贅沢切り身セット ・新規取引先の開拓 宿毛幼稚園 おおつき保育所 ・業務効率化 ファレマシンの導入の検討 2 加工商品のPR ・県内イベント等への積極的な出店 宿毛まるごと産業祭への出店 宿毛市ふるさと納税制度への返礼品の提供 3 未利用水産物の有効活用 ・管内で水揚げされるサメ類等を用いた1次加工商品の製造及び販売の継続実施 ・既存取引先に対する営業活動、新規取引先開拓	2,086万円 (R4.4月～11月) ・R4目標達成率：92.0% ・対前年同期比：117.9%	B	(成果) ・コロナ禍においても売上は堅調に推移 (対前年同期比117.9%) (課題) ・安定的な加工体制の構築 ・施設の老朽化 (見直しの方向性) ・フレマシンの導入を検討 ・施設整備・修繕の検討	1 宿毛湾産の水産物を活用した商品開発および販路拡大 ・販売商品のラインナップの追加・削除、製造・販売数量の見直し ・既存販売先への安定供給、新規取引先の開拓 2 加工商品のPR ・県内イベント等への積極的な出店 3 未利用水産物の有効活用 ・管内で水揚げされるサメ類等を用いた1次加工商品の製造及び販売の継続実施 ・既存取引先に対する営業活動、新規取引先開拓
			R3	3,400万円	3,033万円	B						
			R4	3,400万円								
			R5	5,000万円								
水産業	8 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売 (宿毛市) 【実施主体】 ◎・(株)勇進 ※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)	売上高 1.7億円 (H30)	R2	3億円	3.91億円	S	1 加工品の商品開発・販路拡大 ・個人飲食店への販促活動 ・ECサイトの本格稼働 2 生産体制の確立 ・生産安定化に向けた取り組み ・県版HACCPステージアップに向けた社員教育	1 加工品の商品開発・販路拡大 ・SNSやホームページ・新聞折り込みを活用した情報発信 ・ECサイトの運営 2 生産体制の確立 ・関連事業者のスタッフ増員(1名) ・外国人労働者(特定技能)の雇用(1名、12月) ・ブリの人工種苗の試験導入(全体の約3%)	4億4,680万円 (R4.5月～12月) ・R4目標達成率：148.9% ・対前年同期比：145.8% ※前年の稚魚不漁による養殖ブリの高騰	S	(成果) ・KPIを達成し、売上は好調 ・新規雇用 関連事業者を含め計2名 ・「ぶりのさしみ&たたきセット」が入賞(島崎和歌子賞) (課題) ・餌代・燃料代の高騰による製造原価の上昇 ・稚魚の供給量が不安定 ・衛生管理の向上 (今後の方向性) ・生産販売計画の見直し ・来年度の生産量増加を見越した販路開拓 ・県版HACCPの認証取得	1 加工品の商品開発・販路拡大 ・生産販売計画の検討・見直し ・商談会への出展 ・ECサイトによる直接販売の強化 2 生産体制の確立 ・県版HACCPステージアップに向けた社員教育
			R3	4億円	4.73億円	S						
			R4	4.5億円								
			R5	5億円								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
水産業	9 宿毛湾のキビナゴ加工商品等の販売拡大 (大月町) 【実施主体】 ◎・八重丸水産(株) ※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)	売上高 2,855万円(R元)	R2	3,000万円	2,565万円	B	1 販路拡大・販売促進 ・展示商談会への参加 ・県版HACCP認証取得に向けた取組の継続 2 新商品の開発・既存商品の磨き上げ ・付加価値の高い新加工商品、きびなごケンピの新商品アイテムの開発及び販売	1 販路拡大・販売促進 ・展示商談会への参加(計8件) シーフードショー大阪 ほか ・高知家のうまいもの大賞2023への応募(きびなごロースト) ・きびなごローストや本マグロホルモンカレー、鯛めしの素など、新商品の販売促進 2 新商品の開発・既存商品の磨き上げ ・マーボーホルモンの開発に関してOEM先と調整	2,830万円(R3.9月～R4.8月) ・R4目標達成率：88.5% ・対前年比：125.7% ※R2～3のキビナゴ不漁から回復傾向にある	B	(成果) ・キビナゴ漁が回復傾向にあり、県外事業者への出荷を再開しつつある →売上も回復傾向 ・商談会等への出店により新規成約5件、再取引1件 (課題) ・増益に向けた、既存商品の改良及び販路拡大 ・キビナゴの水揚げが、不安定(減少傾向) ・食品衛生管理の向上 (今後の方向性) ・関西圏への販売強化 ・既存商品のバリエーション化による原価率の改善、きびなごローストなどの高利益率商品の販路拡大 ・県版HACCP新第2ステージへの対応	1 販路拡大・販売促進 ・展示商談会への参加 ・県版HACCPの認証取得 2 新商品の開発・既存商品の磨き上げ ・新商品の開発
			R3	3,100万円	2,252万円	C						
			R4	3,200万円	2,830万円	B						
			R5	3,400万円								
水産業	10 宿毛湾の干物等水産加工品の販売拡大 (大月町) 【実施主体】 ◎・土佐大月海産 ※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)	売上高 2,602万円(H30)	R2	3,000万円	2,822万円	B	1 販路拡大・販売促進 ・チラシ、インターネットを通じた継続的な販売 ・通年用リーフレットの送付 ・お中元商品のDM発送、宣伝・販売 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 2 新商品開発・既存商品の磨き上げ ・マグロを活用するための急速冷凍機の導入	1 販路拡大・販売促進 ・チラシ、インターネットを通じた継続的な販売 ・通年用リーフレットの送付(ふるさと納税返礼品に同封) ・お中元、お歳暮商品のDM発送、宣伝・販売(6月、11月) ・HACCP専門家派遣 2 新商品開発・既存商品の磨き上げ ・急速冷凍庫の導入(小規模事業者持続化補助金の活用) ・急速冷凍庫を活用した新商品の検討(マグロ、ブリ、タイ) ・リピーター向け新サービスの検討 ・きびごま、スナックうるめのパッケージリニューアル(7月)	2,299万円(R4.1月～11月) ・R4目標達成率：78.4% ※上半期、原魚が不漁 ・対前年同期比：91.7%	C	(成果) ・HACCP専門家派遣により、衛生管理に関する課題を確認 ・個人顧客に注力した経営により、売上高が減っても一定の利益を確保 (課題) ・原魚の安定確保 ・利益率が高い個人顧客の獲得(新規・リピーター) ・衛生管理の向上 (今後の方向性) ・急速冷凍庫を活用した商品開発 ・ふるさと納税を活用した販売促進 ・県版HACCP認証取得 ・事業承継に向けた後継者育成	1 販路拡大・販売促進 ・チラシ、インターネットを通じた継続的な販売 ・通年用リーフレットの送付 ・お中元、お歳暮商品のDM発送、宣伝・販売(年2回) 2 新商品開発・既存商品の磨き上げ ・急速冷凍庫を活用してキビナゴの刺身などの商品化を検討
			R3	3,100万円	2,898万円	B						
			R4	3,200万円								
			R5	3,300万円								
商工業	11 幡多地域産品販売体制の構築 (幡多地域全域) 《実施主体》 ◎・幡多広域地産外商推進協議会 ・生産者 ・加工業者	-	R2	-	-	-	1 推進組織体制の強化 ・総会の開催 ・作業部会の開催 2 事業者との連携強化 ・地域内の生産者や事業者情報のとりまとめ ・地域AP関連事業者等の情報提供 ・各種支援制度に関する情報提供 ・県主催商談会参加者や土佐MBA参加者の情報提供 3 販路開拓及び販売促進 ・イオンモール、とさのさとでのフェアの開催	1 推進組織体制の強化 ・総会の開催 ・作業部会の開催(計8回) 2 事業者との連携強化 ・とさのさと 幡多フェアへの参加の呼びかけ 3 販路開拓及び販売促進 ・土佐幡多の会10周年記念交流会 ・幡多フェアの開催(2回) とさのさと(8/2～9/11) 8/12、9/10～9/11は店頭販売実施 イオンモール(10/29～10/30)	※目標指標の設定なし	-	(成果) ・とさのさと、イオンモールでの幡多フェアの開催 (課題) ・活動方針の再整理 ・事業者との連携強化 ・大都市圏へのPR (今後の方向性) ・県外での幡多地域産品の販売 ・PR	1 推進組織体制の強化 ・総会の開催 ・作業部会の開催 2 事業者との連携強化 ・地域内の生産者や事業者情報のとりまとめ ・地域AP関連事業者等の情報提供 ・各種支援制度に関する情報提供 ・県主催商談会参加者や土佐MBA参加者の情報提供 3 販路開拓及び販売促進 ・県外でのイベント・フェアの検討
			R3	-	-	-						
			R4	-								
			R5	-								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
商工業	12 宿毛市特産直七の生産・加工・販売の促進 (宿毛市) 【実施主体】 ◎・直七生産(株) ・直七の里(株)	売上高 2,900万円 (H30)	R2	5,000万円	2,967万円	D	1 生産体制の強化 ・生産者に対する栽培技術の共有 ・選果機等、必要機材の検討 ・青玉出荷及び体制確立の検討 2 販路拡大 ・商談会等への参加 新規販売経路への出品準備 ・誘客促進キャンペーン「直七フェア」開催 ・既存加工品の見直し	1 生産体制の強化 ・搾汁機の改良・増設の検討 ・栽培面積拡大の検討 2 販路拡大 ・新規販路の開拓 商談会への参加(計2回) 「FABEX2022」など 県内外大手スーパーマーケット、コンビニエンスストア、 商社、外食関係事業者等への販促活動を継続 フランス・中国への輸出に向けた営業 首都圏の飲食店経営者グループの視察受け入れ 都市圏でのインターネット広告配信 ・直七の日(10/7)に絡めた認知度向上・消費喚起イベント(再掲) 直七フェアの開催(10/7～10/31) 市内の事業者が直七を使った新商品・メニューを販売 直七アロマイベントの開催(10/7) 市内で直七果皮から精油を抽出するPRイベント実施 ・商品改良 自社ドレッシングの味を改良中	6,469万円 (R4.1月～10月) ・R4目標達成率：155.3% ・対前年同期比：188.4% ※10月に販売会社を通じて 大手企業と成約	S	(成果) ・大口の成約 1件 (年度内に商品化予定) ・新商品の開発 1品目 「焼酎ハイボール高知産直七割り」 (1月、宝酒造(株)) ・直七フェア参加店舗の増加(再掲) (R3：7→R4：16) (飲食店、製菓店) (課題) ・需要が不安定 ・大口需要に対応可能な在庫確保 (今後の方向性) ・安定した販路の確保 ・収穫量の増加 (栽培面積の拡大)	1 生産体制の強化 ・栽培面積の拡大 ・収穫期の求人強化 2 販路拡大 ・販売会社と連携した販路開拓 ・既存商品リニューアル
			R3	5,000万円	3,438万円	D						
			R4	5,000万円								
			R5	9,400万円								
商工業	13 幡多地域における昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等の推進 (宿毛市) 【実施主体】 ◎・(有)菱田ベーカリー	売上高 4,567万円 (H30)	R2	6,000万円	3,849万円	D	1 生産体制の強化 ・人材の確保 ・効率的な衛生管理マニュアルの作成 ・従業員教育 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 2 販路拡大 ・商談会・イベント等への参加 3 新商品の開発 ・高所得者向け高単価商品の開発	1 生産体制の強化 ・衛生管理講座等の受講(計5回) HACCPアドバイザー(エコア(株))による書類作成指導 商工会議所アドバイザーによる講習(Web、7月) ・県版HACCPの認証取得に向けた従業員教育 衛生管理研修として他社の工場を見学(5月) 2 販路拡大 ・商談会への参加(計6回) FOOD LIFE 2022 ほか ・各種イベント等への参加(計13回) 店頭販促 松山市内コープえひめ パンフェス 金沢市 ほか (県「ビジネスチャレンジ支援補助金」の活用(10月)) 3 新商品の開発 ・「なつかしのコッパン」販売(8月～) ・高単価ローカルパン「いも栗きんとんパン」販売(11月～) (県「ビジネスチャレンジ専門家派遣」の活用)	2,620万円 (R4.4月～11月) ・R4目標達成率：52.4% ※販売戦略の見直しに伴い、 商品開発が遅れたため ・対前年同期比：105.4%	D	(成果) ・新商品の開発 2品目 なつかしのコッパン(8月) いも栗きんとんパン(11月) (課題) ・原材料価格の高騰 ・人材不足 商品開発、経理、衛生管理への対応 ・衛生管理向上のための従業員教育 (今後の方向性) ・値上げの影響を受けにくい高単価商品のシリーズ化 ・人材の確保 ・効率的な衛生管理システムの構築 ・県版HACCP新第2ステージ取得に向けた取り組みの継続	1 生産体制の強化 ・人材の確保 ・効率的な衛生管理マニュアルの作成 ・従業員教育 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 2 販路拡大 ・商談会・イベント等への参加 3 新商品の開発 ・高単価商品のシリーズ化
			R3	6,000万円	5,076万円	C						
			R4	7,500万円								
			R5	9,000万円								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
水産業	14 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進 (土佐清水市) 【実施主体】 ◎・土佐清水食品(株) ・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会 ・土佐清水市 ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)	土佐清水食品(株)の売上高 18.5億円(H30)	R2	20.6億円	18.9億円	B	1 保管・加工施設の整備及び運営 ・共同加工施設、残渣加工施設、冷凍保管施設の円滑な運営 2 スープブロスを核とした、製造・販売体制の確立 ・首都圏等におけるフェアの開催 ・商談会等への参加 3 メジカ・宗田節の全国的なPR ・イベント等での宗田節のPR ・市内学校での食育の実施 ・道の駅等を活用した情報発信	1 保管・加工施設の整備及び運営 ・残渣加工施設 受入れ数量 576,976kg(4~9月) 対前年同期比 102.9% ・冷凍保管施設 メジカ漁獲量 276,532kg(4~10月) 対前年同期比 38.5% ・共同加工施設 使用量 629,316kg(4~8月) 2 スープブロスを核とした、製造・販売体制の確立 ・商談会への参加(計17件) シーフードショー大阪(ほか) ・SATOUMIでの販売 ・宗田節まつり 新商品「和風だしパウダー」の販売開始(11月) ・産業祭 3 メジカ・宗田節の全国的なPR ・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会 総会 ・イベント等への出店(計6回) とさのだしフェス(アグリコレット 2回) 道の駅めじかの里土佐清水GW祭り!! ばしふいっくびいなす来港 宗田節まつり 産業祭	14.2億円 (R4.4月~11月) ・R4目標達成率:93.6% ・対前年同期比:114.6%	B	(成果) ・共同加工施設の正式運用開始(R4.4月~) ・スープブロス関連の新商品(パウダー)の発売(11月) (課題) ・原材料となる原魚の不足 ・共同加工施設、残渣加工施設、冷凍保管施設の効率的な運営 ・スープブロスの販路拡大 ・宗田節の知名度・認知度の向上 (今後の方向性) ・共同加工施設、残渣加工施設、冷凍保管施設の利用促進 ・スープブロスの販促活動の強化 商談会への参加、首都圏でのフェアの開催、新商品の販売 ・食育を通じた宗田節のPR、市民向けプロモーション	1 保管・加工施設の整備及び運営 ・共同加工施設、残渣加工施設、冷凍保管施設の円滑な運営 2 スープブロスを核とした、製造・販売体制の確立 ・首都圏等におけるフェアの開催 ・商談会等への参加 3 メジカ・宗田節の全国的なPR ・イベント等での宗田節のPR ・市内学校での食育の実施 ・道の駅等を活用した情報発信
			R3	22.6億円	19.0億円	C						
			R4	22.9億円								
			R5	23.6億円								
商工業	15 宗田節だし加工商品の販路拡大の促進 (土佐清水市) 《実施主体》 ◎・(株)ウェルカムジョン万カンパニー ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)	売上高 8,516万円(H30)	R2	8,813万円	7,713万円	B	1 生産体制の強化 ・工場のスペース増築の検討 ・県版HACCP第3ステージ取得 2 商品開発・改良 ・商品の見直し等の検討 3 県外での販路拡大 ・各種商談会への参加 ・各種イベント、販売会への参加 ・インターネットを活用した販売強化	1 生産体制の強化 ・新規従業員2名のスキルアップ ・県版HACCP第3ステージ取得に向けた取組 旧第3ステージ認証(R4.12月まで)取得済み (R5.6月まで6ヶ月の経過措置期間あり) 2 商品開発・改良 ・商品パッケージの改良を検討開始 キャップデザインの構想中 ・商品値上げを実施(10/1) 3 県外での販路拡大 ・商談会への参加(計4件) 「食の魅力」発見商談会2022(ほか) ・イベント等への出店(計10件) とさのだしフェス(アグリコレット 2回)(ほか) ・JAL 中国向けWeChat出品検討	5,646万円 (R4年1月~10月) ・R4目標達成率:75.3% ※コロナ禍による需要の減 ・対前年同期比:121.8% ※全国旅行支援等によるお土産需要の増	C	(成果) ・雇用の増加 正社員1名 ・お土産需要増等により売上は好調に推移 (全国旅行支援 製造機器の導入によるパウダー商品の利上げ増) (課題) ・注文増加に伴い工場が手狭に ・消費者ニーズや衛生管理に適した商品の改良、デザインの向上 ・県外・海外での販売先の新規開拓 (今後の方向性) ・工場増築の検討 ・衛生管理向上に向けた専門機関等との協議 ⇒パッケージ改善の検討 ・イベント等への参加 ・県版HACCP新第3ステージ認証取得	1 生産体制の強化 ・工場のスペース増築の検討 ・県版HACCP第3ステージ取得 2 商品開発・改良 ・商品の見直し等の検討 3 県外での販路拡大 ・各種商談会への参加 ・各種イベント、販売会への参加 ・インターネットを活用した販売強化 ・海外への販路開拓の検討
			R3	6,300万円	6,148万円	B						
			R4	9,000万円								
			R5	1億円								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析	
商工業	16 幡多地域産品を活用した加工商品の開発販売と流通システムの構築 (土佐清水市) 《実施主体》 ◎・(株)郷土活性化組合(土佐清水活性化組合) ・土佐清水外商流通組合 ・土佐清水市 ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト、宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)	出荷事業者数 33 (R元)	R2	37	29	C	1 流通システムの構築 ・生産・加工事業者との混載による物流の効率化 2 地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進 ・地域食材や加工品等の販売促進	1 流通システムの構築 ・土佐清水ワールド雲井通店がビル建て替えに伴い閉店(5月) ・三宮旭通店開店(5月) ・新橋店営業再開、マグロ解体ショー実施 2 地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進 ・薫焼きワールドお中元セール実施 ・「母の日&人気のメニュー特集」催事出店(大丸神戸店) ・三宮中央通り店5周年記念イベント ・生けすセンター6周年記念イベント ・土佐清水うまいもんフェア(青森) ・三宮磯上通店7周年記念フェア ・新橋店4周年記念イベント ・梅田お初天神店4周年記念感謝祭	28(11月末時点) ・R4目標達成率:62.2% ※コロナの影響による営業不振 ・対前年同期比:100.0%	D	(成果) ・新橋店の営業再開 (課題) ・コロナ禍における営業の継続 ・より効率的かつ安価な流通システムの構築 ・新たに地産外販できる地域産品の掘り起こし ・地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進 (今後の方向性) ・インターネット販売を実施しつつ、五反田店の営業再開を目指す	1 流通システムの構築 ・生産・加工事業者との混載による物流の効率化 2 地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進 ・地域食材や加工品等の販売促進
			R3	41	28	D						
			R4	45								
			R5	50								
商工業	17 宗田節の一般向け削り加工商品の販売促進と体験観光の強化 (土佐清水市) 【実施主体】 ◎・(株)たけまさ商店 ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)	売上高 7,400 万円 (R元)	R2	7,765 万円	5,889 万円	C	1 生産体制の強化 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 ・水産加工業営業許可の取得 2 販売拡大 ・商談会へ参加、販売拡大 ・各種研修・セミナーの受講 ・産業振興アドバイザーの活用(商品開発)	1 生産体制の強化 ・水産品製造業営業許可取得(5月) ・県版HACCP新第1ステージ認証書類提出中(11月) 2 販売拡大 ・商談会への参加(計6件) シーフードショー大阪(ほか) ・イベント等への参加 とさのだしフェス(アグリコレット2回) 松山三越で販売会 「割烹着まゝ先生×たけまさ商店」だし料理教室(2回) 黒潮市場 だしバーガー出店 雪峰祭 軽トラ市 どんさりうまいもん市(2回) 幡多・愛南うまいものフェア(2回) ・「だしの郷」Instagram発信開始(6月) ・セミナー参加(2件) 高知銀行主催マーケティングセミナー 高知銀行主催原価計算セミナー ・新商品開発、販売の構想	6,539万円 (R3.8月~R4.7月) ・R4目標達成率:72.4% ※原魚の不足、魚質の低下 ・対前年同期比:106.4%	C	(成果) ・水産加工業営業許可の取得 ・商談会へ参加6件成約 削り節商品出荷先の業種分散(ペット分野、加工分野) ・催事出店における客、店からの高評価(削り節等の味、質) ・店舗でのイベント等開催による来客者数の増 1,304名(R4.4月~7月) 前年同期比161.4% (課題) ・原魚の確保 ・加工商品の開発・充実 ・宗田節の知名度の向上 ・体験型観光客数の増加 ・販路拡大 ・衛生管理の向上 ・職員の高齢化 (今後の方向性) ・焙乾技術を活かした商品開発 ・製品パンフレットの作成 ・商談会への参加 ・情報発信の強化 ・イベントの企画・開催 ・HACCPの認証取得 ・人材派遣会社の利用を検討	1 生産体制の強化 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 ・職員高齢化への対応 2 販売拡大 ・商談会へ参加、販売拡大 ・新たな商品の検討 ・各種研修・セミナーの受講 3 節納屋体験観光の強化 ・SNSでの情報発信 ・イベントの開催 ・軽食の提供
			R3	8,394 万円	6,156 万円	C						
			R4	9,040 万円	6,539 万円	C						
			R5	9,600 万円								
		体験者数 200名 (R元)	R2	250名	96名	D	3 節納屋体験観光の強化 ・SNSでの情報発信 ・オンライン体験事業の開始 ・土日限定でのイベント・フェアの開催 ・ジオツアーとの連携	3 節納屋体験観光の強化 ・オンライン体験ツアー開始(4/1~) ・土日限定でだしバーガー等の提供を開始(5月) ・龍馬パスポート参加(8/1) ・イベント等の開催・参加 だしの郷1周年&たけまさ商店創業110周年イベント だしの郷Summerイベント 土佐くろしお鉄道 西部のいいところ探検隊 ・レンタサイクル開始(10月)	465人 (R3.8月~R4.7月) ・R4目標達成率:77.5% ※コロナ禍による休業 ・対前年比:234.8% ※新店舗オープンがR3.3月 R4年度は、イベント開催や昼食提供などにより誘客を促進	C		
			R3	500名	198名	D						
			R4	600名	465名	C						
			R5	700名								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
商工業	18 新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化 (土佐清水市) 【実施主体】 ◎・(有)ヤマア ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)	売上高 1.9億円(R元)	R2	-	1.5億円	-	1 顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化 ・小売商品の製造機器、冷凍保管設備の導入検討 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 ・水産加工業営業許可の取得への取組 2 販売拡大・新商品の開発 ・商談会への参加 ・経営に関するアドバイザーの活用 3 雇用体制の強化 ・増産に対応した人員の確保	1 顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化 ・サバ節等の生産の拡大(6月～) ・HACCP実証データの蓄積 →R5.4月に申請予定 2 販売拡大・新商品の開発 ・さんしんGO!放送 ・商談会への参加(計13件) 高知県食品外販組合(イオンリテールの商談)ほか ・高知商工会議所 福岡テストマーケティング申し込み、受託 ・魚粉加工品出荷開始(10月) 3 雇用体制の強化 ・外国人技能実習生受入れ(2名、5月～)	0.7億円 (R4.7月～11月) ・R4目標達成率:77.2% ※メジカの不漁及びメジカ漁閑散期の影響 ・対前年同期比:112.2%	C	(成果) ・増産に向けた新規雇用2名 ・メジカ閑散期におけるサバ節等の生産増 ・小売り商品の売上増 (前年度比約400%) (課題) ・原魚の確保 ・安定した年間操業 ・販路拡大 ・衛生管理の向上 (今後の方向性) ・他魚の活用による年間操業 ・水産製品製造許可の取得 ・新商品の開発 ・原魚保存機器及び小売商品製造機器の導入検討 ・残渣を利用した魚粉加工品の販売拡大 ・県版HACCP認証取得	1 顧客のニーズに合わせた節生産体制の強化 ・小売商品の製造機器、冷凍保管設備の導入検討 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 ・水産製品製造許可の取得 2 販売拡大・新商品の開発 ・商談会への参加 ・小売商品のPR 3 雇用体制の強化 ・増産に対応した人員の確保
			R3	2.2億円	1.6億円	C						
			R4	2.4億円								
			R5	2.5億円								
商工業	19 西土佐栗の地産外販の推進 (四万十市) [実施主体] ◎・(株)しまんと美野里	売上高 1,250万円(H30)	R2	1,400万円	1,071万円	C	1 販売力の強化 ・オンラインショップを活用した更なる販路拡大 ・対面での販売促進(生栗・焼き栗中心) 2 経営戦略に基づく事業展開 ・オンラインショップでの販売強化 ・商品の高付加価値化 3 栽培しやすい環境づくり ・栗生産者の収穫量アップ・栽培面積拡大	1 販売力の強化 ・オンラインショップ(楽天)で、生栗の販売 2 経営戦略に基づく事業展開 ・今年度の収穫・出荷に向け臨時人材雇用(2名) 3 栽培しやすい環境づくり ・収穫量アップに向けて、栗栽培肥料を農家へ配布 ・農家へ市補助金の概要紹介・活用促進 ・栗園を活用した学生向け地域学習プログラムの開発(産振アドバイザーの活用)	259万円 (R4.6月～10月) ・R4目標達成率:36.7% ※台風被害や鳥獣被害の影響による収穫量の減少 ・対前年同期比:105.9%	D	(成果) ・収穫量の減少に伴い、販売量も減少しているものの、オンラインショップでの生栗の販売は好調 ・イベント等で焼き栗の対面販売を再開 (課題) ・栗の確保 ・経費削減 (今後の方向性) ・生産基盤の強化・栽培面積の拡大 ・苗木新植に関する市補助の活用促進 ・パウダー製造工程の一部を、外注から自社へ切り替え(1月～) ・加工品製造に要する人員確保の検討	1 販売力の強化 ・オンラインショップを活用した更なる販路拡大 ・対面での販売促進(生栗・焼き栗中心) 2 経営戦略に基づく事業展開 ・商品のブランド化 ・人員体制の確保の検討 3 栽培しやすい環境づくり ・栗生産者の収穫量アップ・栽培面積拡大
			R3	1,700万円	941万円	D						
			R4	1,700万円								
			R5	2,000万円								
		生栗の仕入量 7.8t(H30)	R2	7.6t	6.8t	B	1 販売力の強化 ・オンラインショップ(楽天)で、生栗の販売 2 経営戦略に基づく事業展開 ・今年度の収穫・出荷に向け臨時人材雇用(2名) 3 栽培しやすい環境づくり ・収穫量アップに向けて、栗栽培肥料を農家へ配布 ・農家へ市補助金の概要紹介・活用促進 ・栗園を活用した学生向け地域学習プログラムの開発(産振アドバイザーの活用)	5.6t (R4.6月～10月) ・R4目標達成率:60.9% ※台風被害や鳥獣被害の影響による収穫量の減少 ・対前年同期比:83.6%	D	(成果) ・収穫量の減少に伴い、販売量も減少しているものの、オンラインショップでの生栗の販売は好調 ・イベント等で焼き栗の対面販売を再開 (課題) ・栗の確保 ・経費削減 (今後の方向性) ・生産基盤の強化・栽培面積の拡大 ・苗木新植に関する市補助の活用促進 ・パウダー製造工程の一部を、外注から自社へ切り替え(1月～) ・加工品製造に要する人員確保の検討	1 販売力の強化 ・オンラインショップを活用した更なる販路拡大 ・対面での販売促進(生栗・焼き栗中心) 2 経営戦略に基づく事業展開 ・商品のブランド化 ・人員体制の確保の検討 3 栽培しやすい環境づくり ・栗生産者の収穫量アップ・栽培面積拡大	
			R3	8.4t	6.7t	C						
			R4	9.2t								
			R5	10.0t								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
農業	20 四万十牛の生産・加工・販売体制の強化 (四万十市) 【実施主体】 ◎・(株)四万十牛本舗 ・(株)横山畜産 ・地域事業者	売上高 1億9,000万円(H30)	R2	2億3,544万円	1億8,524万円	C	1 新たな加工販売施設の運営 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 2 商品開発及び販売促進 ・新商品の開発・加工品の製造拡大 ・販促活動 店舗のレイアウトや商品構成に関するアドバイザーを導入 ・社内体制の強化 ・経理や営業等の役割分担見直し 3 地元事業者との連携強化 ・西土佐地域産業振興推進協議会への主体的な参画 ・モニターツアー「半径3kmの旅」の企画・検討 4 生産体制の強化 ・畜舎増設に向けた連携体制構築の検討	1 新たな加工販売施設の運営 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得に向けた取組み 2 商品開発及び販売促進 ・新商品の開発・加工品の製造拡大 土佐井パンフレットへの掲載(四万十牛丼) ・店舗レイアウトや商品構成に関するアドバイザー導入(商工会の補助金を活用：5月) ・社内体制の強化・役割分担見直しの検討 3 地元事業者との連携強化 ・西土佐地域産業振興推進協議会への参画 ・モニターツアー「半径3kmの旅」の企画・検討 ・しまんとリバーベキュープロジェクトとの連携 4 生産体制の強化 ・畜舎増設に向けた土地取得手続き完了 堆肥舎については、R5.3月完成見込み	8,789万円 (R4.4月～8月) ・R4目標達成率：78.7% ※コロナ禍による休業 ・対前年同期比：99.5%	C	(成果) ・第13回神戸市西部市場銘柄和牛共進会 優秀賞受賞 ・ふるさと納税売上額が好調 対前年同期比 202.4% (10月末現在) ・四万十牛丼が、「土佐井グランプリ2022」グランプリ受賞 ・しまんとリバーベキュープロジェクトと連携し、道の駅で販売するBBQセットの開発・販売開始 (課題) ・ブランド化に向けた取組の強化 ・衛生管理の向上 ・地域事業者との連携強化 ・生産・販売体制の強化 (今後の方向性) ・イベント等への出店拡大 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 ・西土佐地域産業振興推進協議会への主体的な参加 ・畜舎増設 ・社内の業務分担の見直し ・土佐MBA等の受講 ・店舗レイアウトや商品構成の改善	1 新たな加工販売施設の運営 ・県版HACCP新第2ステージの認証取得に向けた取組 2 商品開発及び販売促進 ・社内体制の見直し ・店舗レイアウトや商品構成の改善 ・オンラインショップでの販売促進 3 地元事業者との連携強化 ・西土佐地域産業振興推進協議会への主体的な参画 (モニターツアーの企画・検討など) 4 生産体制の強化 ・畜舎の増設/堆肥舎の新設
			R3	2億4,900万円	2億127万円	C						
			R4	2億6,800万円								
			R5	2億6,800万円								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
商工業	21 売り出せ西土佐プロジェクト推進（拠点ビジネス） （四万十市） 【実施主体】 ◎・(株)西土佐ふるさと市 ・四万十市	売上高	R2	1億6,700万円	1億4,604万円	B	1 地域ならではの商品づくり及び販売促進 ・既存商品・サービスのブラッシュアップ ・地域産品を活用した新商品の販売促進 ・地域の魅力発信 ・地域内外での販売拡大 2 周辺施設等・商店街等との連携 （地域拠点としての機能強化） ・地域観光拠点としての情報発信力の強化 モニターツアー「半径 3km の旅」企画・検討 ・西土佐地域産業振興推進協議会による主体的な事業の企画・開催 ・基幹作物「米ナス」の認知度向上、地域活性化に向けた取組 ・しまんとリバーベキュープロジェクトとの連携	1 地域ならではの商品づくり及び販売促進 ・新商品「四万十川天然鮎のコンフィ」缶詰販売開始（4/10～） ・大街道商店街アーケード内出張販売（毎火曜日） ・県外道の駅との物販交流を実施中（計4カ所） 道の駅許田（沖縄県）、道の駅つるた（青森県） 道の駅しょうわ（秋田県）、道の駅あさひかわ（北海道） ・愛媛奥伊予四万十鶏街道実施 2 周辺施設等・商店街等との連携 ・中村高校西土佐分校と連携したイベント企画・開催（道の駅：学生によるイモ天販売） ・第9回四万十うまいもの商店街の開催（周辺の道の駅との連携企画） ・「予土まちサイクルデジタルスタンプラリー」イベントへの参画（予土県境地域連携企画） ・地域観光拠点としての情報発信力の強化 モニターツアー「半径 3km の旅」企画・検討 よりすぎタイムスの発行（毎月） ・西土佐地域産業振興推進協議会による事業企画・開催 基幹作物「米ナス」の認知度向上、地域活性化に向けた取組 ナスフェス・ガブッと米ナスキャンペーン 米ナス即売会・関東圏百貨店との商談会 しまんとリバーベキュープロジェクトとの連携企画 プロジェクトの管理運営担当を新たに雇用(1名) しまんとリバーベキューモニターツアー（6/28～29） BBQ施設「リバーサイド」「ルーフトップ」（7/23オープン） 初級BBQインストラクター検定 中級BBQインストラクター検定 バエリア料理講習会、BBQメニュースキルアップ講座 バーベキュージャンボリーシメント2022	11,753万円 （R4.4月～10月） ・R4目標達成率：117.8% ・対前年同期比：124.3% ※イベントへの参加拡大、交流人口の増加	S	（成果） ・オープンからの通算レジ通過者数が100万人突破 ・イベント再開による出店機会の増加 ・新規雇用 1名 ・「リバーサイド(道の駅)」「ルーフトップ(ホテル星羅四万十)」が「スマートBBQパーク」の国内第1号、2号として認定(9月) （課題） ・集客・交流人口の増加 ・地域産品を活用した産業振興 （今後の方向性） ・地域事業者と連携したイベント等の企画・運営 ・情報発信機能の強化 ・地域産品を活用した加工品の開発・販売 ・西土佐地域産業振興協議会の運営強化、人材育成	1 地域ならではの商品づくり及び販売促進 ・既存商品・サービスのブラッシュアップ ・地域産品を活用した新商品の販売促進 ・地域の魅力発信 ・地域内外での販売拡大 2 周辺施設等・商店街等との連携 （周辺の道の駅との連携企画） ・地域観光拠点としての情報発信力の強化 モニターツアー「半径 3km の旅」企画・検討 ・西土佐地域産業振興推進協議会による事業企画・開催 基幹作物「米ナス」の認知度向上、「鮎」の利用促進、地域活性化に向けた取組 など ・BBQ施設・事業の運営体制の構築
			R3	1億6,900万円	1億5,391万円	B						
			R4	1億7,100万円								
			R5	1億7,300万円								
				1億6,400万円 （H30）								
商工業	22 四万十地域の素材を活用した加工商品の外商強化 （四万十市） 【実施主体】 ◎・しまんと百笑かんぱに(株) ・四万十市地域商品研究会	売上高	R2	8,377万円	3,296万円	D	1 自社商品の開発強化 ・地域素材の掘り起こし ・商品開発 2 高付加価値路線への販路拡大 ・オンライン商談会(随時) ・商談会への出展 ・他企業とのコラボ商品開発 3 地域商社機能の強化 ・四万十市地域商品研究会での情報交換	1 自社商品の開発強化 ・商品開発 継ぎ足す醤油セットミニバージョン（7月発売） ふるふるドレッシングのフルーツバージョン（3月～試験販売） 2 高付加価値路線への販路拡大 ・オンライン商談会(随時) ・商談会への出展(計11件) インテリアライフスタイル2022（ほか(予定を含む)） ・他企業とのコラボ商品開発 KYOTO CRAFT COLA No.0（5月発売） KYOTO CRAFT ジンジャー（2月発売予定） 3 地域商社機能の強化 ・四万十市地域商品研究会メンバーとの情報交換 ・地域事業者との連携による商品の取り扱い 商談会への出展 カタログへの掲載	3,789万円 （R4.4月～11月） ・R4目標達成率：103.4% ・対前年同期比：123.8% ※テレビ番組での商品紹介やスマホゲームのキャラクター関連グッズとして採用されたことに伴う売り上げの増	A	（成果） ・キャラクター関連グッズとしての採用等により前年度と比較して売り上げは増加傾向 （課題） ・自社商品の開発 ・営業人材不足 （今後の方向性） ・素材生産者の掘り起こし ・営業人材の確保(コロナ後)	1 自社商品の開発強化 ・地域素材の掘り起こし ・商品開発 2 高付加価値路線への販路拡大 ・オンライン商談会(随時) ・商談会への出展 ・他企業とのコラボ商品開発 3 地域商社機能の強化 ・四万十市地域商品研究会での情報交換
			R3	4,050万円	4,877万円	S						
			R4	5,500万円								
			R5	1億円								
				4,844万円 （H30）								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】	R5【P (Plan)】			
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
商工業	23 幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大 (四万十市) 【実施主体】 ◎・(株)WAN LIFE	売上高 2,064万円 (H30)	R2	3,500万円	3,522万円	A	1 商品開発 ・ネコ用商品 ・イヌ用レトルト商品 ・イヌ用チルド商品 2 販促活動 ・自社通販サイト、ふるさと納税の販売強化 ・自社定期便システムの検討 3 生産体制の充実・強化 ・新施設での運営体制の構築 ・従業員の雇用 ・新規事業展開の検討	1 商品開発 ・イヌ用レトルト商品を開発中 ・イヌ用チルド商品 シイラのムニエル、土佐鴨のローストを施設内カフェで提供開始 豚レバーのおやつの販売開始(11月) 2 販促活動 ・自社通販サイト、ふるさと納税での販売を継続 自社HPを7月にリニューアル ふるさと納税の商品の拡大(5月) スープ2箱セット、 スープ2種類(鶏肉 豚肉)を新たに追加 ・自社定期便システムの検討 ・新施設(ドッグラン複合施設)がオープン(4/23) (R3 県新事業チャレンジ支援事業費補助金の活用) 3 生産体制の充実・強化 ・新施設での運営体制の構築 ・従業員の雇用(正社員1名、土日バイト3名) ・新規事業展開の検討	4,576万円 (R4.1月～12月) ・R4目標達成率:91.5% ・対前年同期比:98.5%	B	(成果) ・新施設(ドッグラン複合施設)オープン(4/23) (課題) ・商品開発・販路拡大 ・人手不足 (今後の方向性) ・通販サイト等の品揃えの強化 新商品の検討 ・自社定期便システムの導入に向けた検討	1 商品開発 ・ネコ用レトルト商品 ・イヌ用レトルト商品 2 販促活動 ・自社定期便システムの検討 ・商談会への出展 3 生産体制の充実・強化 ・新規事業展開の検討
			R3	4,000万円	4,644万円	S						
			R4	5,000万円								
			R5	6,000万円								
商工業	24 四万十の地域食材を活用した商品開発・製造・販売の推進 (四万十市) 【実施主体】 ◎・(株)LLPLしまんと	売上高 2,584万円 (H30)	R2	2,400万円	2,394万円	B	1 人材確保及び人材育成 ・製造人員の確保 ・従業員教育 2 商品ラインナップの充実 ・自社新商品発売 3 販路開拓 ・商談会への出展等による外商強化	1 人材確保及び人材育成 2 商品ラインナップの充実 ・自社新商品発売 ソイチップス(かつお・塩) 4月:先行発売開始 7月:販売開始 3 販路開拓 ・商談会への出展等による外商強化(1件) 国際雑貨EXPO四万十市ブース【夏】	1,574万円 (R4.4月～10月) ・R4目標達成率:100.0% ・対前年同期比:123.8% ※商談会での契約成立	A	(成果) ・商談会の出展による販路拡大 ソイチップス、かりんとうを合わせて 10件以上の商談成立 ・新商品ソイチップスの販売数 8ヶ月で1,600個以上 (課題) ・製造部門の人員不足 ・製造施設の規模拡大 ・HACCP新第2ステージ認証取得 (今後の方向性) ・求人サイト以外の雇用を検討 ・ソイチップスのさらなる販路拡大に向けた検討 ・HACCPに対応した施設整備の検討	1 人材確保及び人材育成 ・製造人員の確保 ・従業員教育 2 商品ラインナップの充実 3 販路開拓 ・商談会への出展等により既存商品の外商強化 4 生産体制の強化 ・生産拡大の検討
			R3	3,000万円	2,740万円	B						
			R4	2,700万円								
			R5	3,500万円								
商工業	25 幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進 (四万十市) 【実施主体】 ◎・(有)和	売上高 2,288万円 (H30)	R2	2,300万円	1,444万円	D	1 商品開発及び改良 ・自社商品の開発 ・OEM商品の開発 2 販路拡大 ・商談会等への出展 ・通販、ふるさと納税の取組継続 3 生産体制の強化・充実 ・新施設整備計画の検討	1 商品開発及び改良 ・自社商品の開発 →大葉の商品2件 ・OEM商品の開発 →餃子1件 2 販路拡大 ・商談会等への出展(計2件 予定を含む) 高知県産品商談会 スーパーマーケットトレードショー2023四万十市ブース 3 生産体制の強化・充実 ・HACCP新第2ステージ認証取得 申請に向けて研修を受講	893万円 (R4.6月～10月) ・R4目標達成率:93.2% ・対前年同期比:178.3% ※大手デパートのカタログギフト掲載により通販が好調	B	(成果) ・カタログギフトに掲載され、通販が好調 (大丸・松坂屋の春夏ギフト) ・商談会への出展により契約成立 ・雇用の創出:1名 (課題) ・自社商品、OEM商品の開発 ・飲食店への卸しの減少 ・営業人材の不足 ・衛生管理の向上 (今後の方向性) ・地域素材を活用した新商品開発 ・商談会への出展 ・営業人材の育成 ・HACCPの認証取得	1 商品開発及び改良 ・自社商品の開発 ・OEM商品の開発 2 販路拡大 ・商談会等への出展 ・通販、ふるさと納税の取組継続 ・人材育成(OJT) 3 生産体制の強化・充実 ・新施設整備計画の検討 ・HACCP新第2ステージ認証取得
			R3	2,300万円	1,459万円	D						
			R4	2,300万円								
			R5	3,500万円								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
商工	27 道の駅「ふれあいパーク・大月」を基盤とした産業振興と販わいの創出 (大月町) 【実施主体】 ◎・(一財)大月町ふるさと振興公社 ◎・大月町 ※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)	売上高 1億9,400万円(H30)	R2	2億3,000万円	2億443万円	B	1 地域製品の販売促進、特産品の開発・販売の強化 ・地産地消・外商の推進 ・新商品開発・既存商品の磨き上げ ・在庫の可視化に関する機能の拡充及び取組の周知 ・通販サイトの移行や機能の拡充 ・スタッフへの研修及び接客マニュアル整備 2 販わいの創出 ・事業者等との連携によるイベント等の開催	1 地域製品の販売促進、特産品の開発・販売の強化 ・ギフトカタログ等での販売 ・外商に意欲のある町内事業者との連携強化 高知県地産外商公社を招いた商談会の実施 商談会への参加(土佐の宴、高知県産品商談会) ・晩柑を活用した新商品の検討 町内外の晩柑生産者と取引を見据えたヒアリングの実施 ・フィッシュレザークーホルダーの開発、販売開始(7月) ・大月ソフトのバリエーションを拡充(7月) ・売店で酒類の販売を開始(8月) ・受入体制の強化に向けたマニュアル化の検討 2 販わいの創出 ・限定クーポン、イベント等の開催(計5回) paypayとタイアップしたポイントバックキャンペーンの実施 おおつきふれあいマーケット おおつき町もろこしまつり(大月町産備長炭を併せてPR) イモフェス 青森りんごフェア ・イベント等への出店(計8回) 日曜日 ほか ・県観光開発公社との観光振興に関する協定締結 SATOUMI、黒潮生物研究所とタイアップしたPR パネル、水槽設置(10/2一般公開開始)	1億6,237万円 (R4.4月～11月) ・R4目標達成率:101.5% ・対前年同期比:109.1%	A	(成果) ・売上は、過去最高を記録した昨年を上回るペースで推移 対前年同期比 109.1% ・入込客についても好調に推移 132,975人 (R4.4月～11月) 対前年同期比 102.7% (課題) ・産直市のさらなる販売強化(商品の充実及び質の向上) ・商品のPR強化 ・ふるさと納税からのリピーター獲得 ・来店者の満足度向上 (今後の方向性) ・販売実績の整理と売上目標をリンクした販売戦略の作成 ・町内事業者と連携した外商活動の実施(商談会への参加) ・SNS等を活用した継続的な情報発信 ・組織体制、人材育成方法の検討	1 地域製品の販売促進、特産品の開発・販売の強化 ・地産地消・外商の推進 ・新商品開発・既存商品の磨き上げ 2 販わいの創出 ・事業者等との連携によるイベント等の開催
			R3	2億3,600万円	2億1,926万円	B						
			R4	2億4,000万円								
			R5	2億5,000万円								
商工業	28 三原村のどぶろくによる地域活性化 (三原村) 【実施主体】 ◎・土佐三原どぶろく(同)	売上高 1,479万円(H30)	R2	1,500万円	1,284万円	B	1 販売促進 ・イベントへの参加 ・商談会への参加 ・新酒祭の開催(9月) ・ECサイトの運用強化 ・中筋川ダムとの連携 2 組織体制の強化 ・どぶろく共同製造施設の整備 ・施設整備と並行したHACCP対応、酒類製造免許の取得に向けた準備	1 販売促進 ・イベントへの参加(計5回) 日曜日 ほか ・HP、SNS(Instagram)でのPR ・中筋川ダムとの連携 ダム最下層へのどぶろく貯蔵 ダム貯蔵酒と新酒のセット販売(9月) ・商品開発 ゆず甘酒の試飲・アンケート実施(11/3) →商品化 2 組織体制の強化 ・どぶろく共同製造施設の整備 10月～工事開始 (国事業再構築補助金の活用) ・酒類製造免許の取得に向けた書類提出	433万円 (R4.6月～9月) ・R4目標達成率:100.0% ・対前年同期比:134.8% ※コロナ禍により落ち込んでいた需要が回復傾向	A	(成果) ・新商品開発1件 ・商談4件、成約5件 ・販売拡大、どぶろく文化継承に向け共同製造施設整備に着手 (課題) ・コロナ禍による販促活動の縮小 ・どぶろく農家の高齢化に伴うどぶろく文化の継承、後継者育成 ・衛生管理の向上 ・どぶろくを活用した誘客促進 (今後の方向性) ・ネット販売の強化 ・共同製造施設の整備 各どぶろく農家の販売チャネルの整理・集約 ・県版HACCPの認証取得 ・誘客促進に向けたどぶろく関連企画の検討	1 販売促進 ・イベントへの参加 ・商談会への参加 ・新酒祭の開催(9月) ・誘客促進策の検討 ・ECサイトの運用強化 ・中筋川ダムとの連携 2 組織体制の強化 ・共同製造施設整備後の製造体制の確立、販売チャネルの整備 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得
			R3	1,500万円	1,367万円	B						
			R4	1,300万円								
			R5	1,900万円								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
商工業	29 三原産トマトを中心とした加工・販売の推進 (三原村) 【実施主体】 ◎・(株)ベストグロウ	売上高 9,395万円 (H30)	R2	9,550万円	1億1,373万円	S	1 販売促進 ・イベントへの参加 ・商談会への参加 ・SNSの運用強化 2 生産・加工体制の強化 ・県版HACCP第2ステージの認証取得 ・R3.9月の水害による青果品質の低下への対応(四万十農場)	1 販売促進 ・イベントへの参加(計5件) 日曜日 ほか ・商談会への参加(計4件) 高知県内量販店個別商談会 ほか ・SNS (Facebook, Twitter, Instagram) の運用 ・ウイルス被害を受けたHP再稼働 2 生産・加工体制の強化 ・ジュース製造体制の見直し ・水害被害を受けた苗の植え替え(四万十農場)	7,919万円 (R3.12月～R4.9月) ・R4目標達成率: 95.0% ・対前年同期比: 81.2%	B	(成果) ・苗の植え替えにより青果品質が回復の見込み(四万十農場) ・イベントや商談会への参加が回復 (課題) ・販売リスク分散に向けた販路拡大 ・コロナ禍による加工品販売の停滞 ・加工品製造にかかる人手不足 (今後の方向性) ・海外展開を視野に入れた販促活動の強化 ・ジュース製造の外部委託の検討	1 販売促進 ・イベントへの参加 ・商談会への参加 ・SNSの運用強化 2 生産・加工体制の強化 ・人手不足解消に向けた加工品製造の外部委託
			R3	9,650万円	1億2,200万円	S						
			R4	1億円								
			R5	1億円								
商工業	30 黒潮町産天日海塩を活用したビジネスの推進 (黒潮町) 【実施主体】 ◎・(有)ソルティープ	売上高 2,195万円 (H30)	R2	2,411万円	2,985万円	S	1 生産施設の拡大及び体験受入の体制強化 ・採かん施設の改築及び結晶ハウスの増築 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得に向けての取り組み 2 販路開拓・販売促進 ・商談会への出展 ・関連事業者との連携強化 ・連携事業者との新商品開発 3 人材確保 ・アルバイトから正社員へ変更	1 生産施設の拡大及び体験受入の体制強化 ・採かん施設の改築及び新規結晶ハウスの増築(産業振興推進総合支援事業費補助金の活用) 2 販路開拓・販売促進 ・商品開発 サニーマーケット 長崎和三盆塩かすてら販売開始(4月～) 高知ゆずからりん株式会社 高知ゆずからりん黒潮鮮烈(8月～) サンシャイン 宗田鯉をたっぷり使用した天日塩で仕上げるピザ(11月～) ・商品の値上げ(8/1～) 200g: 税込756円 ⇒ 896円、 500g: 1,728円 ⇒ 1,965円 3 人材確保 ・アルバイトから正社員へ変更(1名、5月～)	1,916万円 (R4.3月～9月) ・R4目標達成率: 100.7% ・対前年同期比: 103.2%	A	(成果) ・機会損失解消・生産拡大に向け採かん施設の整備に着手(9月) ・体験観光受入人数の増加410人(3～10月) 対前年同期比 201% (課題) ・需要に対し生産量が不足 ・人材育成 ・整備後に向けた新規顧客の獲得 ・衛生管理の向上 ・結晶箱の修理の省力化 (今後の方向性) ・パンフレットリニューアル ・社員教育 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得(R6) ・結晶箱の破損防止策の検討	1 生産施設の拡大及び体験受入の体制強化 ・改修施設の本格稼働 ・県版HACCP新第2ステージ取得のための取り組み ・結晶箱の破損防止策の実施 2 販路開拓・販売促進 ・各種商談会への出展 ・連携事業者との新商品開発 3 人材確保 ・継続した社員教育
			R3	2,823万円	2,913万円	A						
			R4	3,261万円								
			R5	3,467万円								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
商工業	31 黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進 (黒潮町) 【実施主体】 ◎・土佐のあまみ屋 ・黒潮町商工会	売上高 2,442万円 (R元)	R2	2,503万円	2,593万円	A	1 生産体制の強化 ・採かん施設の増築及び結晶箱の増設 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 2 販売拡大 ・他事業者との関係性強化による商品開発 ・商談会への参加を検討 3 地域ブランド化の推進 ・黒潮町商工会による働きかけを継続	1 生産体制の強化 ・採かん施設の増築及び結晶箱の増設(産業振興推進総合支援事業費補助金の活用) ・県版HACCP新第2ステージ認証取得に向けた取り組みHACCP研修受講(10月) 2 販売拡大 パンフレットリニューアル(5月) 玄米醤油しぼり体験実施(11月) 3 地域ブランド化の推進 ・黒潮町及び黒潮町商工会による町内天日塩事業者への説明・呼びかけの実施(12月)	1,826万円 (R4.1月～8月) ・R4目標達成率：104.1% ・対前年同期比：109.3%	A	(成果) ・機会損失解消・生産拡大に向け採かん施設の整備に着手(9月) (課題) ・需要に対し生産量が不足 ・衛生管理の向上 ・整備後の販路開拓 ・地域ブランド化の推進 (今後の方向性) ・採かん施設の増築及び結晶箱の増設 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得(R6) ・SNS等を活用した情報発信 ・ブランド化に向けた事業者との協議	1 生産体制の強化 ・新施設の本格稼働 ・県版HACCP新第2ステージ取得のための取り組み ・後継者の雇用・育成 ・商品値上げ検討 2 販売拡大 ・各種商談会への出展 ・関係事業者との新商品開発 3 地域ブランド化の推進 ・黒潮町の天日塩の売り出し方、PR方法を検討
			R3	2,503万円	2,859万円	S						
			R4	2,632万円								
			R5	3,338万円								
商工業	32 佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進 (黒潮町) ◎・(株)なぶら土佐佐賀 ・黒潮町	売上高 2億1,628万円 (H30)	R2	2億1,000万円	1億6,874万円	C	1 施設整備及び組織体制の充実 ・キャッシュレス対応券売機の導入の検討 2 町内の事業者と連携した商品開発・販売促進 ・直販所で販売するお弁当開発の検討 ・フードコート新メニューの検討 3 観光案内等機能充実・強化 ・継続したピオスおおがたとの勉強会の実施	1 施設整備及び組織体制の充実 ・キャッシュレス対応券売機等の導入(観光振興推進総合支援事業費補助金の活用) 2 町内の事業者と連携した商品開発・販売促進 ・食堂日替わり定食の充実を検討 ・食堂新メニューの提供開始(7月～)(冷やし釜玉うどん(夏季限定)、たたきとしらす丼) 3 観光案内等機能充実・強化 ・道の駅ピオスおおがたとの休館日の情報共有の開始(HP・Instagram等で休館日を周知)	1億6,330万円 (R4.4月～11月) ・R4目標達成率：136.1% ・対前年同期比：137.1% ※人流の増加に伴う売り上げの増加	S	(成果) ・全国旅行支援等の効果により、レジ通過者数、売上共に増加傾向 レジ通過者数 対前年同期比 123% 売り上げ 対前年同期比 137% (課題) ・誘客促進のためのキャッシュレス化 ・高速道路延伸後の集客 (今後の方向性) ・キャッシュレス券売機の導入 ・店舗規模拡大等の検討	1 施設整備及び組織体制の充実 ・店舗規模拡大等の検討 ・組織体制強化、人材育成 2 町内の事業者と連携した商品開発・販売促進 ・なぶら土佐佐賀を目的地とするための情報発信の取組強化 ・販売強化のための県外道の駅視察の検討 ・ふるさと納税返礼品への登録検討 3 観光案内等機能充実・強化 ・ピオスおおがたとの継続した情報共有
			R3	1億8,000万円	1億7,751万円	B						
			R4	1億8,000万円								
			R5	2億2,600万円								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
商工業	33 黒潮町の地域産品を中心とした水産加工品等の販売促進 (黒潮町) 【実施主体】 ◎・(有)土佐佐賀産直出荷組合	売上高 8,600万円 (H30)	R2	1億600万円	1億1,417万円	A	1 商品開発・販売促進 ・新商品の開発検討 2 スタッフ教育 ・県版HACCP新第3ステージ基準適応 3 生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり ・外国人人材の募集	1 商品開発・販売促進 ・新商品の開発 「土佐かつおめし」「土佐かつおのっけ」販売開始 (R4.3月～) ・生産効率を上げるため薫焼き製造ライン増設(11月) (小規模事業者持続化補助金の活用) ・販売促進 試食・販売会(計10回) 福島屋六本木店 ほか 商談会 高知県内量販店個別商談会(2回) 2 スタッフ教育 ・県版HACCP新第3ステージ更新 (R4.1月) ※経過措置期間 (R6.3まで) ・県版HACCP第2ステージに目標変更 社内食品衛生教育研修実施 HACCP研修受講 HACCP研修補講受講 3 生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり ・(株)黒潮町缶詰製作所との連携 (缶詰の原料供給)	1億585万円 (R4.3月～11月) ・R4目標達成率：108.3% ・対前年同期比：99.5%	A	(成果) ・KPIを連続して達成 R4も昨年と同様に推移 ・職員の習熟及び製造ラインの増設により、作業効率が向上 生産拡大により、機会損失の解消・売上増加につながる (課題) ・衛生管理のチェック体制の整備 ・薬保管場所の確保 (今後の方向性) ・HACCP新第2ステージ取得に向けての取り組み (R6.3まで)	1 商品開発・販売促進 ・新たな冷凍惣菜開発 ・新商品の販売開始 2 スタッフ教育 ・人材確保 ・HACCP新第2ステージ取得に向けての取り組み
			R3	1億1,500万円	1億3,475万円	S						
			R4	1億3,031万円								
			R5	1億3,031万円								
商工業	34 黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進 (黒潮町) 【実施主体】 ◎・(株)黒潮町缶詰製作所 ・黒潮町	売上高 7,600万円 (H28～30平均)	R2	9,598万円	1億1,970万円	S	1 施設・体制の充実強化 ・工場移転に向けた検討 ・内部での衛生管理研修の検討 2 商品開発・販路開拓 ・自社の新商品開発 (秋頃までに)	1 施設・体制の充実強化 ・工場移転に向けた検討 現在、工場機能も含めて検討中 ・衛生管理研修の検討 食品表示研修(基礎)受講 食品表示セミナー受講 ・県版HACCP新第2ステージ認証取得 (R4年度中を予定) ※現在旧第3ステージ取得済 2 商品開発・販路開拓 ・原材料の高騰等に伴い、全商品の価格改定 (9月) ・自社商品の開発・強化 人気商品のギフトセット化(カツオdeギフト) (9月) 土佐あかうしのスジ煮込み鍋 (12月) ※新商品 ・OEM商品の開発 四万十鶏TOSAワイン煮等3商品(井上ワイナリー、4月) 鮎のコンフィ缶詰(道の駅よって西土佐、4月) スヌーピー：コーンデリシヤススープ(USJ、5月) ウクライナ支援缶詰(高知工科大学と連携、9月)	5,300万円 (R4.4月～10月) ・R4目標達成率：90.9% ・対前年同期比：102.7%	B	(成果) ・KPIを連続して達成 R4も昨年度以上の売上 対前年同期比 102.7% (課題) ・首都圏への販路開拓 ・利益率の向上 ・社内衛生管理の強化 (今後の方向性) ・自社新商品の開発による販売強化 ・衛生管理研修の実施	1 施設・体制の充実強化 ・社内衛生環境の強化 (産振アドバイザーの活用検討) 2 商品開発・販路開拓 ・自社商品の開発・強化
			R3	1億円	1億1,169万円	S						
			R4	1億円								
			R5	1億円								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】	R5【P (Plan)】			
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
観光	35 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進 (幡多地域全域) 【実施主体】 ◎・(一社)幡多広域観光協議会 ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト、宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)	延べ宿泊者数 398,797人(H30)	R2	400,000人	319,790人	C	1 商品造成・誘客促進 ・商品化及び商品化支援による地域の魅力創出の推進 ・旅行会社等へのセールスの推進(関東、関西、中国地方へ) ・教育旅行向け「観光×SDGs」商品の造成及び販売(職員1名が「サステナブル・コーディネーター講座」を受講商品造成目標3本)	1 商品造成・誘客促進 ・商品化及び商品化支援による地域の魅力創出の推進 欧米豪向け四万十川流域アクティビティ商品の造成、磨き上げ SDGsを切り口にした体験プログラムづくり(観光庁・看板商品創出事業の活用) インバウンド対策での専門家招聘事業(観光庁)活用 意見交換、管内視察、勉強会の開催 ・旅行会社等へのセールスの推進 【教育旅行】 旅行会社セールス 中国地方(県主催) 広島(計11社) 関西地方(県主催) 大阪、兵庫、奈良(計16社) 教育旅行広島セールス(自主) 尾道、福山(計2社) 教育旅行SDGs商品造成提案会(ほんもの体験企画主催)大阪 教育旅行スポーツツーリズム商談会(KVCA主催) 大阪 受入状況 県内:10校(生徒118名・引率43名) 県外:15校(生徒669名・引率60名) 大阪府・3校、東京都・2校、神奈川県・2校、 広島県、島根県、北海道、京都府、奈良県、 和歌山県、鳥取県、徳島県 各1校 取消・中止:8校 下見対応:4校 【団体旅行】 高知県県観光説明会・商談会(KVCA主催) 東京(2回参加 計28社商談) 福岡、広島(計21社商談) 高知(計12社商談)、大阪(13社商談) 大阪市内営業活動(自主)(2社) ツーリズムEXPO2022出展・東京 ((一社)日本観光振興協会他主催)東京(計15社商談) クルーズ船オプションツアー商談会(KVCA主催) 高知(2社商談) モニターツアーアテンド(11月) 九州(大分県内)セールス(愛媛県南予地方局と合同) 阪急交通社国内旅行推進協力会・商談会(阪急交通社主催) 琴平(8部署商談)	-	-	(成果) ・目標には届いていないが、GW、夏休みともに入込客が目に見えて増加、一定の回復傾向にある ・県外からの教育旅行は、昨年度を上回る受入 ・外国人も、国内在住の方を中心に多少、動きがでてきている (課題) ・感染対策 ・訪日観光客の受入 ・民泊の対応 ・SDGsに関連したツアーの造成 (今後の方向性) ・感染対策・受入に関する情報収集 ・商談会等を活用した誘致活動の充実 ・インバウンド対策の充実 ・民泊再開に向けた対策の実施 ・SDGsを切り口とした体験プログラムの更なる造成と磨き上げ	1 商品造成・誘客促進 ・SDGsに関連したツアーの造成 ・市町村と連携した民泊の早期再開及び受入体制の強化 ・インバウンド向けプログラムの整備及び受け入れ態勢の充実、強化 2 広報PR ・首都圏、関西圏での広告掲載 3 組織体制の強化 ・職員のスキルアップ
			R3	425,000人	330,712人	C						
			R4	434,000人								
			R5	443,000人								
			R2	13,000人	2,121人	D						
	R3	14,000人	430人	D								
	R4	14,700人										
	R5	15,400人										
		外国人延べ宿泊者数 12,101人(H30)	R2	13,000人	2,121人	D	2 広報PR ・ブランド形成による地域認知度向上の推進 (四万十川等の自然×SDGs、連続テレビ小説を生かした博覧会に併せ、自然+スイーツなど新たな観光商品の検討) ・マーケティングに基づくプロモーションの推進 3 組織体制の強化 ・来訪者満足度を向上するための地域受入態勢整備を推進(集活センターとの連携による昼食の提供、民泊登録数を増やす取り組みを検討)	2 広報PR 【市場調査】 主要宿泊施設利用者アンケート調査の実施・分析(通年) はた旅体験利用者アンケート調査の実施・分析(通年) 【プロモーション】 HP、Facebook、Instagramを活用した情報発信 マスメディアを活用した情報発信 観光経済新聞広告 旅行会社、観光・交通拠点を活用した情報発信 大阪モルルールー両への情報発信シール貼付 3 組織体制の強化 教育民泊研修会開催(11月)(15名参加)	-	-		
	R3		14,000人	430人	D							
R4	14,700人											
R5	15,400人											
R2	13,000人		2,121人	D								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
観光	36 幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口の拡大と地域の活性化 (幡多地域全体) 【実施主体】 ◎・(一社)幡多広域観光協議会 ・幡多6市町村及び観光協会	延べ 宿泊者数 11,964 人 (H30)	R2	15,000 人	4,840 人	D	1 受入体制の整備 ・受入体制の充実・強化 受入ガイドラインの普及、徹底 市町村、集落活動センター等との連携 2 誘客促進の取り組み ・PR・セールスプロモーション活動 人工芝など施設のPR 砂浜トレーニングのブラッシュアップ、PR	1 受入体制の整備 ・新型コロナウイルス感染症対策の受入運営ガイドラインの作成と更新 ・サッカー大会の開催及び合宿の受入(計12件 3,514人泊) BlueWave フェスティバル-U16- (4月) (23人泊) ゴルフ合宿(高校) (3件) (5月) (73人泊) サッカー強化合宿-中・高等学校- (25チーム)(4月~6月) (219人泊) 四国トレセン U17 (6月) (35人泊) ミズノサマーカップIN黒潮・宿毛(7月) (624人泊) Blue Waveユースカップ黒潮・宿毛(7月) (1,012人泊) クラブユースキャンプ合同合宿(8月) (280人泊) Blue Waveステップアップシリーズ(8月) (275人泊) 四国ルーキーリーグ黒潮集中開催(9月) (87人泊) サッカー強化合宿-中・高等学校(12チーム) (7月~9月) (753人泊) 全日本高校女子サッカー選手権四国大会(10月) (40人泊) 第17回くろしおサッカー大会(シニア)(11月) (93人泊) 2 誘客の促進 ・県内外の誘致活動 中国地方(6月) 東海、関西方面(6月) 九州地方(10月) 関西地方(10月) 四国地方(10月) 中国地方(11月) 関東、北陸、北海道方面(11月) 東北地方(11月)	6,175人 (R4.4~11月) ・R4目標達成率: 61.8% ※コロナ禍による大会への参加取りやめ等の影響 ・対前年同期比: 155.1% (R3.11月末: 3,979人)	D	(成果) ・砂浜美術館が中心となり、誘致・受入活動が充実 ・全体的な受入数は、回復傾向 (課題) ・人材育成 ・感染対策 ・急な感染拡大による大会の中止 参加取りやめなど (今後の方向性) ・受入研修会等の検討 ・市町村と連携した誘致活動	1 受入体制の整備 ・市町村間の連携の充実 2 誘客促進の取り組み ・新たな種目の誘致 ・サッカーの新たなカテゴリーの大会 誘致及び合宿等の誘致活動
			R3	15,000 人	7,708 人	D						
			R4	15,000 人								
			R5	15,000 人								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
観光	37 宿毛市の地域資源を活用した観光振興 (宿毛市) 【実施主体】 ・(一社)宿毛市観光協会 ・宿毛市 ※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)	市内の延べ宿泊客数 9.1万人(H30)	R2	9.4万人	7.1万人	C	1 地域の特性、資源を活用した体験型プログラムの造成・磨き上げ、推進体制の強化 ・関係団体と連携した体験型プログラム造成 ・道の駅の改修工事 ・プロモーション活動の強化 2 誘客促進の取り組み ・広域観光組織と連携した誘客促進 ・ファンライド「四国西南・無限大ライド」開催(6月) ・JCL(ジャパンサイクルリーグ)プロロードレースの開催(9月) ・ライドイベントの開催(10月)	1 地域の特性、資源を活用した体験型プログラムの造成・磨き上げ、推進体制の強化 ・「土佐の観光創生塾」の受講(2回) (宿毛観光市民ガイドの会卒業生(1名)) ・道の駅「すくもサニーサイドパーク」の改修工事(7月～) (地域観光振興交付金の活用) ・市内事業者のキッチンカー導入を支援 6件 (飲食3件、食品加工3件) (市「キッチンカー等導入支援事業費補助金」の活用) ・宿毛市総合運動公園のマウンテンバイク専用コースを拡張 ・自転車愛好家向けフリーペーパーの発行 (ポタリング宿毛vol.2) ・地産農水産物フードロス解消するメニュー・加工品開発及びグルメサイクルツアー造成委託 2 誘客促進の取り組み ・まちのえき林邸で各種展示会、ワークショップ開催 8回 春の山野草と四万十川石展 ほか ・ヒトハコ雑貨店(まちのえき林邸の月替わりの出店ブース)の設置(5月～) ・歴史館の展示に合わせた講座・散策ツアー(計5回) ・沖の島アドベンチャーラン(カヌー&スイム) (沖の島観光協会主催) ・ファミリー釣り大会&海遊びin沖の島 ・釣りイベントの実施(計3回) チヌパラダイスカップ グレパラダイスカップ 宿毛市・大月町・土佐清水市観光協会の連携企画 「三市町合同グレ釣りダービー」 ・SNSフォトコンテストの実施(応募期間:11/1～1/31) ・横瀬川ダムクライミングウォール体験 2回 ・高知ユナイテッドSCの試合に合わせ「スポカフェ」実施 2回 (宿毛市総合運動公園) ・RIDE & EAT! レンタサイクル利用者へクーポン券(食事)配布 ・初心者向けマウンテンバイク&ロードバイク体験 ・四国西南・無限大ライド開催 (幡多6市町村・四万十町、各観光協会、幡多広域観光協議会で実行委員会を組織) (観光コンベンション協会「自然環境を活かしたスポーツ大会支援事業助成金」の活用) ・JCL(ジャパンサイクルリーグ)高知大会開催 高知県宿毛市ロードレース(9/25) ・ライドイベント「すくもグラベルまんぷくライド」開催	- (R4.1月～) ※年度末に集計	-	(成果) ・誘客促進に向け、道の駅改修に着手(7月) ・ライドイベントの磨き上げ キッチンカー事業者との連携 総合運動公園にマウンテンバイク専用コース完成(R2～4) ・林邸での展示会・ワークショップの定着 (課題) ・体験メニューの造成・磨き上げ ・周遊促進に向けた取組の強化 ・リピーターの確保 (今後の方向性) ・関係機関との連携強化 地域産品の未活用部位の活用 促進を図る商品開発、ツアー造成 ・道の駅を核とした周遊観光の検討 ・各種誘客イベント等の企画・運営 ・ライドイベント等の継続	1 地域の特性、資源を活用した体験型プログラムの造成・磨き上げ、推進体制の強化 ・関係団体と連携した体験型プログラム造成 ・プロモーション活動の強化 2 誘客促進の取り組み ・広域観光組織と連携した誘客促進 ・ライドイベントの開催 ・ファンライド「四国西南・無限大ライド」開催(3月)
			R3	9.4万人	8.0万人	C						
			R4	9.4万人								
			R5	9.85万人								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
観光	38 電串地域の観光再生構想の推進 (土佐清水市) 【実施主体】 ◎・土佐清水市 ・電串海洋観光クラスター推進協議会 ・(一社)土佐清水市観光協会 ・(特非)NPO電串観光振興会 ・観光事業者 ・ガイド団体 ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)	入込客数	R2	10.3万人	19.2万人	S	1 事業者間連携強化及び誘客の仕組みづくり ・電串の観光を考える会における検討 ・各種イベントの企画、開催	1 事業者間連携強化及び誘客の仕組みづくり ・各種イベント スノーピーク3周年記念イベント SATOUMI GWイベント(ガラス細工の生き物たち) 海ギヤラテラスオープンマルシェ 道の駅めじかの里土佐清水GW祭り!! フレンドリーデー(SATOUMI) レッツおにぎり(海ギヤラテラス) 2周年特別記念展示 ざまな! サメ展(SATOUMI) 海のギャラリー 写真講座 建築家・構造家が見つめた電串の自然 足摺宇和海国立公園50周年記念事業 あしうわまんぷくフェスタ、宗田節まつり、ジョン万祭り SATOUMIイルミネーション 特別展示お正月展2023飛躍の年 夜の水族館、サンタダイバーとじゃんけんぼん! ナイトアクアリウムダイブ ・SATOUMIオンラインガイドツアー開始(4/1~) ・海ギヤラChill Out 総会	15.8万人 (R4.1月~10月)	S	(成果) ・2年連続で、KPIの目標達成 R2目標達成率:186.4% R3目標達成率:148.0% R4も、対前年同期比103.6%と好調に推移 (各種誘客イベントの開催) ・課題であった滞在時間の延長・周遊促進に向け、道の駅改修に着手 (課題) ・昼食の場が不足 ・さらなる誘客促進 ・滞在時間の延長 ・道の駅の円滑な整備及びオープンに向けたPR (今後の方向性) ・各種誘客イベントの企画・開催 ・地域の事業者と関係機関の連携強化 滞在時間延長の取組の検討 周遊手段(トクトック)導入 道の駅連携協議会等における取組方針等の協議 電串の観光を考える会への参加	1 事業者間連携強化及び誘客の仕組みづくり ・電串の観光を考える会における検討 ・各種イベントの企画、開催 2 電串地域利用計画の推進 ・イースト、ウエストパークを活用した滞在時間の延長への取組 ・トクトック導入 3 道の駅「めじかの里土佐清水」改修による誘客の促進 ・リニューアルオープンに併せたイベント等の企画・PR ・連携協議会の開催 事業者間連携の強化 ・特産品を活用した観光客の満足度の向上
			R3	12.5万人	18.5万人	S						
			R4	14.7万人								
			R5	17万人								
			R2		6.2万人							
		道の駅入込客数	R3		7.2万人		2 電串地域利用計画の推進 ・電串東側駐車場の整備 ・トクトック導入 ・ウエストパーク整備工事	2 電串地域利用計画の推進 ・電串の観光を考える会(2回) ・海ギヤラテラス カフェプレオープン(7月) グランドオープン(11月) ・ランチマップの改良(8月) ・観光案内所Wi-Fi供用開始(9月) ・ぐるっと電串ウエストパーク整備(ドッグラン、イベント広場等)	※R4目標指標の設定なし	-		
			R4									
			R5	14.5万人								
		道の駅売上高	R2		4,716万円		3 道の駅「めじかの里土佐清水」改修による誘客の促進 ・道の駅改修事業 食堂:約30席→約60席へ増(昼食の場の確保) 直販所:面積約2倍、地元商品の販売強化 →観光客、地元客両方の入込増・周遊促進を図る (国地方創生拠点整備交付金の活用) (産業振興推進総合支援事業補助金の活用) ・新土佐清水市地場産品販売施設連携協議会(2回) 生産者説明会(2回)	※R4目標指標の設定なし	-			
			R3		5,071万円							
			R4									
			R5	1億5,659万円								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
観光	39 土佐清水まるごと戦略観光の展開 (土佐清水市) 【実施主体】 ◎・土佐清水市 ・(一社)土佐清水市観光協会 ・土佐清水ジオパーク推進協議会 ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)	入込客数	R2	68.0万人	63.0万人	B	1 誘客の促進 ・クイズノックコラボ宿泊促進事業の実施 ・各種イベントの開催 国立公園50周年記念事業など 2 推進体制の強化 ・足摺岬エリア利用計画の推進 3 日本ジオパークネットワーク加盟によるさらなる誘客促進 ・基本計画の策定(4月) ・審査における指摘事項への対応 サイト案内板の整備など ・ジオツアーの造成、ジオガイドの養成	1 誘客の促進 ・キャンペーン等 土佐清水市の特産品をもっと知ってもらいたい「SNS「いいね」キャンペーン」 Quiz Knockと土佐清水を旅しようプラン ジョン万トラベルキャンペーン 国立公園50!GO!キャンペーン 国立公園50周年記念事業 スタンラリー ・各種イベント ジョン万次郎資料館資料館にちよこり来てや! 2022四国西南無限大ライド あしずりまつり ばしふいっくびいなす来港 スパトライアスロン足摺岬大会 足摺宇和海国立公園50周年記念事業 足摺きらり 産業祭、うまいものフェスタ 椿祭り、灯台特別見学イベント ジョン万ウォーク ・以布利センタージンベイザメ公開中止(5/28~7/16) ・足摺海底館 登録有形文化財(7月) ・ボランティアガイドスキルアップ研修(全4回)	-	-	(成果) ・土佐清水ジオパーク基本計画の策定 (審査での指摘事項等に対する具体的な行動、改善を図るためアクションプランの策定) (課題) ・中心市街地・竜串・足摺の全域の周遊・宿泊を促す企画・ツアー等の造成が必要 ・ジオガイドの不足 ・展望台改修中の誘客促進 (今後の方向性) ・各種イベント等の企画・検討体制構築 ・各種イベントの企画・開催 ・足摺岬エリア利用計画に沿った取組の実施 ・ジオガイド養成講座の実施	1 誘客の促進 ・各種イベントの開催 2 推進体制の強化 ・足摺岬エリア利用計画の推進 展望台改修中の代替策の検討 3 日本ジオパークネットワーク加盟によるさらなる誘客促進 ・審査時の指摘事項への対応 ・ジオツアーの造成、ジオガイドの養成
			R3	70.0万人	56.2万人	C						
			R4	72.0万人								
			R5	75.0万人								
			65.7万人(H30)									

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
観光	40 四万十市の地域資源を活用した通年・滞在型観光の推進 (四万十市) 【実施主体】 ◎・(一社)四万十市観光協会 ・四万十市	公共観光施設利用者数 143,785人 (H30)	R2	-	111,259人	-	1 地域の特性、資源をいかした体験型プログラムの造成・磨き上げ ・しまんとリバーベキュープロジェクトの推進 ・既存拠点施設の改修や拡充 ・イベントの実施 2 誘客の促進 ・二次交通の充実 四万十川バス/周遊観光バスしまんと・あしずり号/市内循環周遊バスの運行 3 推進体制の強化 ・各連絡会議等の更なる活性化 ・観光人材育成によるおもてなしサービスの充実	1 地域の特性、資源をいかした体験型プログラムの造成・磨き上げ ・しまんとリバーベキュープロジェクトの推進 しまんとリバーベキュープロジェクトモニターツアー BBQ施設オープン(7/23) 道の駅よつて西土佐「リバーサイドBBQ」 ホテル星羅四万十「ルーフトップBBQ」 バーベキュー初級検定 中級BBQ検定 パエリア料理講習会、BBQメニュースキルアップ講座 バーベキュージャンボリーシマント ・既存拠点施設の改修や拡充 いやしの里脱衣場空調改修 ふるさと案内所トイレ改修 (地方創生臨時交付金の活用) ・イベントの実施 四万十川花紀行 為松公園桜ぼんぼり点灯 四万十川リバーサイドフルウォーク 小京都ゆかたDay しまんと市民祭なかむら踊り提灯台パレード しまんと市民祭全日本女郎ぐも相撲大会 大文字の送り火 しまんと市民祭しまんと納涼花火大会 不破八幡宮大祭 四万十川ウルトラマラソン(中止) 一條大祭 四万十市産業祭 SHIMANTOイルミネーションinかわらっこ 四万十川花紀行 入田ヤナギ林菜の花まつり 四万十市観光開き ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 四万十市 四万十川花紀行 為松公園桜ぼんぼり点灯 2 誘客の促進 ・二次交通の充実 四万十川バス/周遊観光バスしまんと・あしずり号/ 市内循環周遊バスの運行 ※R4.1月～R4.10月 四万十川バス：302人(前年同期比:158%) しまんと・あしずり号：607人 (前年同期比:235%) 循環周遊バス：200人(前年同期比:161%) ・観光特使等人材の活用 観光大使任命(花琴いづさ氏、Vチューバー) ・四万十市クーポン券事業の実施 3 推進体制の強化 ・各連絡会議等の更なる活性化 四万十市観光振興連絡会議開催(総会)※書面 西土佐観光振興連絡会議 予土県境地域連携協議会(総会、散走セミナー) ・観光人材育成によるおもてなしサービスの充実 観光ガイドLOILOIしまんと(7月～10月：4件28人) 個別勉強会の開催 観光ガイドアドバイザー講習	133,419人 (R4.1月～12月) ※一部未集計施設あり ・対前年同期比：104.7%	-	(成果) ・R2年度以降利用者は回復傾向 対前年同期比104.7% ・二次交通の利用者も、前年度と比較して大幅に増加 対前年同期比158～235% ・四万十市クーポンの実施 約128千枚、63,854千円 (12月末時点) ・BBQ施設の2施設が日本初のスマートバーベキューパーク1号・2号として、日本バーベキュー協会から認定された (課題) ・誘客の促進 ・自然体験型観光のさらなるPR ・観光人材の確保・育成 (今後の方向性) ・各種イベントの企画・開催 ・SNS等を活用した各施設やイベントの情報発信 ・観光ガイドの養成 ・「牧野博士の新休日」に合わせた草花の紹介	1 地域の特性、資源をいかした体験型プログラムの造成・磨き上げ ・既存拠点施設の改修や拡充 ・イベントの実施 2 誘客の促進 ・二次交通の充実 四万十川バス/周遊観光バスしまんと・あしずり号/市内循環周遊バスの運行 3 推進体制の強化 ・各連絡会議等の更なる活性化 ・観光人材育成によるおもてなしサービスの充実
			R3	-	127,404人	-						
			R4	-								
			R5	170,000人								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
観光	41 大月町の地域資源を活用した観光振興 (大月町) 【実施主体】 ◎・(一社)大月町観光協会 ◎・大月町 ・町内事業者 ・関係団体 ※地域産業クラスター関連(宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト)	入込客数 5.3万人(H30)	R2	6.5万人	7.9万人	S	1 自然・体験滞在型等観光の推進と地域資源の観光活用 ・観光資源の磨き上げ、体験プログラムの造成及び観光ガイドの育成 ・大月町の資源を活用した地域観光の推進 2 誘客促進と周遊観光の取り組み ・プロモーション活動・SNS等を活用した情報発信 ・効果的な周遊観光の取り組み 3 推進体制の強化・受入環境の充実	1 自然・体験滞在型等観光の推進と地域資源の観光活用 ・月光桜ライトアップ ・大月町らんまんフォトコンテスト2022 ・風車開放イベントを開催(3回) ・牧野のみちコース下見 ・樫西園地における観光事業の検討開始(7月) ・イカ釣り体験 ・大月祭り開催 ・大月町のごちそうマルシェ ・マグロまつりin大月町産業祭 ・コーラルイルミネーション in Otsuki 2 誘客促進と周遊観光の取り組み ・FB、Instagramによる旬の観光情報の発信 ・大月町530大作戦 ・柏島白浜一斉清掃 ・四国西南・無限大ライド ・季節に応じた大月町の観光を訴求する動画の放映(高知市、幡多地域) ・ふるさとチョイス大感謝祭での観光PR 3 推進体制の強化・受入環境の充実 ・観光協会理事会(3回) ・土佐の観光創生塾 実践編受講(1名) ・もっと草花を楽しむ講座 実践編受講(4名) ・大月町観光についてGoogleを活用したデジタルアンケートの実施	6.9万人(R4.4月～11月) ・R4目標達成率:150.4% ・対前年同期比:128.2% ※全国旅行支援等による人流の回復、さらに昨年と比較して天候に恵まれた	S	(成果) ・天候に恵まれ、また、全国旅行支援などが要因となり、好調に推移(対前年同期比:128.2%) (課題) ・観光客の柏島への一極集中 ・ゴミの不法投棄 ・アンケート実施結果の分析、共有方法 (今後の方向性) ・県の「牧野博士の新休日」の取組に合わせて、受入体制の強化を図る ・町内の他の観光スポットへの誘客及び周遊促進策の検討(観光客のデータ収集・分析)	1 自然・体験滞在型等観光の推進と地域資源の観光活用 ・観光資源の磨き上げ、体験プログラムの造成及び観光ガイドの育成 ・大月町の資源を活用した地域観光の推進 2 誘客促進と周遊観光の取り組み ・プロモーション活動・SNS等を活用した情報発信 ・効果的な周遊観光の取り組み 3 推進体制の強化・受入環境の充実
			R3	6.7万人	6.2万人	B						
			R4	6.9万人								
			R5	7万人								
観光	42 三原村の魅力をいかした滞在型・体験型観光の推進 (三原村) 【実施主体】 ◎・三原村 ◎・(一社)三原村集落活動センターやまびこ ・三原村商工会	入込客数 1.62万人(H29)	R2	1.7万人	0.83万人	D	1 地域の特性、資源を活用した滞在型・体験型プログラムの造成・磨き上げ ・川遊び体験の運用開始 ・新商品(文化財めぐり)の開発 ・先進地(徳島県)視察 2 誘客促進の取り組み ・各種イベントの開催 ・フォトコンテストの実施 3 推進体制の強化 ・情報発信ツール(SNS等)の活用及び情報発信頻度の増加 ・ヒメノボタンの里交流棟の活用	1 地域の特性、資源を活用した滞在型・体験型プログラムの造成・磨き上げ ・体験メニュー(ボタリング)造成 先進地視察(徳島県)アドバイザーの招へい(計3回)試乗会の実施(20名参加)(農村RMO形成推進事業の活用) ・星ヶ丘公園整備(遊歩道・橋の修繕整備、案内板設置等)(博覧会推進受入環境等整備支援事業費補助金の活用) 2 誘客促進の取り組み ・こいのぼりイベント(星ヶ丘公園) ・フォトコンテストの実施(2023/7/31応募メ) ・みはら祭り開催 みはら祭りPR動画作成、中村大橋通ビジョンで放送 ・ヒメノボタンの里めぐり ・どぶろく農林文化祭 PR動画を中村大橋通ビジョンで放送 ・りんどうのしらべ 3 推進体制の強化 ・土佐の観光創生塾(基礎編)受講(2回:1人) ・もっと草花を楽しむ講座(導入編、実践編)草花ガイド候補者の育成に着手(4名) ・観光パンフレットリニューアル	(R4.4月～) ※年度末に集計 ・R4目標達成率:未集計 ・対前年同期比:未集計	-	(成果) ・コロナ禍におけるイベント開催(みはら祭り)により、村内の各種イベントが再開 (課題) ・主要イベントのマンネリ化 ・リニューアルした役場HPの有効活用 (今後の方向性) ・誘客促進策の検討 各実行委員会において、マンネリ対策、新商品等について検討 新商品(文化財めぐり、ボタリング)の開発加速 ・情報発信力の強化	1 地域の特性、資源を活用した滞在型・体験型プログラムの造成・磨き上げ ・体験メニュー(ボタリング)造成(農村RMO形成推進事業の活用) 2 誘客促進の取り組み ・各種イベントの開催 ・フォトコンテストの実施 ・博覧会と連携したPRや周遊促進に向けたイベント開催 3 推進体制の強化 ・情報発信ツール(SNS等)の活用及び情報発信頻度の増加 ・地域観光ガイドの育成
			R3	1.2万人	0.87万人	C						
			R4	1.2万人								
			R5	2万人								

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R5【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	年	目標	実績	達成度	R4計画	R4取組状況	現時点の進捗状況			R5計画
									R4到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析	
観光	43 黒潮町の地域資源を活用した観光推進 (黒潮町) 【実施主体】 ◎・(特非)NPO砂浜美術館 ◎・(一社)黒潮町観光ネットワーク・黒潮町	入込客数 99.3万人(H30)	R2	100万人	79.4万人	C	1 地域の特性、資源を活用した体験プログラムの造成・磨き上げ ・滞在時間延長や複数の観光資源をリンクさせた観光商品造成 ・クーポン事業の実施、OTA掲載推進 2 誘客促進の取り組み ・観光情報ホームページの見直し ・防災研修プログラムを主軸としたMICEの受け入れ推進 3 推進体制の強化 ・観光推進体制の見直し	1 地域の特性、資源を活用した体験プログラムの造成・磨き上げ ・観光キャンペーン第3弾「くろしおFUN! FAN! クーポン」の実施(6月～) ・OTA誘客促進・送客手数料料支援、県内外旅行会社送客手数料料支援の実施 ・抗菌紙おしぼりの配布、紙ストローを希望事業者へ配布(4月末実施、R5年2月実施予定) 2 誘客促進の取り組み ・イベント等の開催 Tシャツアート展 シーサイドギャラリー夏(花火大会) 漂流紀行文学賞 イスに座って海を見る日② 潮風のキルト展 ・誘客 東京商談会出席、14旅行会社と商談 その他商談会出席(広島、高知、大阪、愛知) 高知大丸4階にてNW観光案内 ・モニターツアーの実施 防災ツーリズム3回 一般観光1回 3 推進体制の強化 ・NPO砂浜美術館⇒観光NWへDMOの業務引継ぎ(R4年度中実施予定) ・観光NWホームページ作成(2月完成予定) ・黒潮町役場内に地域おこし協力隊を1人増員(6月～) 観光係でYouTube等での情報発信、事業者支援 ・観光NWの地域おこし協力隊員が1名退職(7月)→1名着任(12月)	647,247人(R4.4月～10月) ・R4目標達成率:111% ・対前年同期比:122.1% ※観光需要の回復及び昨年度は10/30～11/3に実施したTシャツアート展をR4は5月に実施したため	S	(成果) ・観光需要の回復に合わせて、入込客数、宿泊者数ともに、回復傾向にある ・クーポン事業の開始 (配布枚数11,574枚 2,521人分 配布率約84% ※6～11月) (課題) ・地域資源の商品化 ・プロモーションの強化 ・観光地域づくり推進 (今後の方向性) ・複数の観光資源をリンクさせた観光商品の造成 ・防災研修プログラムを主軸としたMICEの受け入れ推進 ・情報発信の強化 ・県内外の旅行会社へのセールスやOTA等による情報発信 ・観光戦略づくり	1 地域の特性、資源を活用した体験プログラムの造成・磨き上げ ・モニターツアーの実施 インバウンド誘客、一般観光の強化 ・大学との連携強化 ゼミフィールドとして活用できる仕組みの構築 2 誘客促進の取り組み ・黒潮町ガイドリニューアル ・観光NWホームページでの情報発信 3 推進体制の強化
			R3	100万人	89.2万人	B						
			R4	100万人								
			R5	100万人								
			R2	24,497人	12,409人	D						
		町内の延べ宿泊者数 22,538人(H30)	R3	24,786人	16,355人	D						
			R4	25,077人								
			R5	25,369人								
			R2	1,300万円	1,634万円	S	1 新商品開発及び販売促進 ・イベントへの参加 ・商談会への参加 土佐の宴in大阪 土佐の宴in名古屋 ・Webマーケティングの強化 2 一次産業の振興 ・ブランド米の土壌改良 ・農村RMO形成支援事業の活用	1 新商品開発及び販売促進 ・イベントへの参加(計5回) 日曜日 他 ・商談会への参加(計3回) 土佐の宴in大阪 ほか ・ふるさと納税寄付額向上に向けた取り組み強化 ふるさと納税プロジェクトチームの定期開催 ふるさと納税サイトデザインリニューアル(楽天ふるさと納税) 事例視察((一社)大月町ふるさと振興公社) ・アグリコレット特産品販売コーナーへの出品 ・ANA 路線販促キャンペーンへの「水源のしずく」採用 2 一次産業の振興 ・ブランド米の販路拡大 先進地視察(山形県) (農村RMO形成推進事業の活用) ・ディスカバー農山漁村の宝への応募 ・お米日本一コンテスト、米・食味分析コンクール出品	1,596万円(R4.4月～10月) ・R4目標達成率:161.0% ・対前年同期比:131.7% ※各種イベント再開によるブランド米の売上増加 ※シントウの単価の回復と出荷数の増加	S	(成果) ・ふるさと納税寄付額347万円(10月時点) (対前年同期比166%) ※前年度休止していた米の定期便再開 ・商談5件、成約1件 (課題) ・コロナ禍による販促活動の縮小 ・情報発信 ・事務局の体制強化 ・ブランド米の品質向上 ・一次産業の後継者不足 (今後の方向性) ・ネット販売及びふるさと納税の取組強化 ・ブランド米栽培田の土壌改良に向けた取組強化	1 新商品開発及び販売促進 ・イベントへの参加 ・商談会への参加 ・Webマーケティングの強化 2 一次産業の振興 ・ブランド米栽培田の土壌改良 ・ブランド米の販路拡大 (農村RMO形成支援事業の活用)
			R3	1,600万円	1,687万円	A						
R4	1,700万円											
R5	1,700万円											
R2	1,207万円(H30)											

2 令和4年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取り組み	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 30 黒潮町産天日海塩を活用したビジネスの推進 （黒潮町） 4/25 交付決定</p>	<p>天日塩増産に向けた採かん施設の改築及び結晶ハウスの増築</p>	<p>18,421 (8,372)</p>
<p>■No. 31 黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進 （黒潮町） 8/15 交付決定</p>	<p>天日塩増産に向けた採かん施設の増築及び既存結晶ハウス内の結晶箱の増設</p>	<p>29,331 (14,156)</p>
<p>■No. 38 竜串地域の観光再生構想の推進 （土佐清水市） 6/27 交付決定</p>	<p>観光客等の滞在時間延長や満足度向上及び地元の農林水産物・加工品の販売促進に向けた地場産品販売施設（道の駅「めじかの里土佐清水」内）の改修</p>	<p>274,629 (45,771)</p>

地域産業クラスタープロジェクトの推進

地域に根差した産業を核として、その周りに様々な産業を集積させる「地域産業クラスター」の形成に取り組むことにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を創出し、若者が地域地域で働き続けられる土壌づくりを目指していきます。クラスター形成を目指す「クラスタープロジェクト」として、18のプロジェクトを位置づけており、その一つひとつに、県、市町村、関係団体等で構成する「プロジェクトチーム」を設置し、プランの策定からその実行までをサポートしていきます。

地域	分野	プロジェクトNo. ・名称	取り組み概要 (目指す姿)	取り組み状況	
幅多	農業	No.16 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト	宿毛市の主要農産物である文旦等の柑橘類とイチゴの生産拡大を核に、食品加工、観光などと連携して産業クラスター化を図り、地域の活性化を目指す。	これまでの取り組み (R元～R3)	イチゴの生産拡大等に関しては、H31.4月、「スタートアグリカルチャーすくも（公社）」を設立し、県の補助を活用して2名雇用するとともに、アドバイザーを招聘、研修生3名の体制で営農を開始した。 その後、R3年に3名の研修生全員が就農し、R4.4月現在、2名の研修生を受け入れている。 商品開発、販路拡大に関しては、R1.7月に、ふるさと納税返礼品として、「冷凍イチゴ」「イチゴジャム」が採用されるとともに、農家や飲食店とイチゴを使った商品開発について協議を行ってきた。 文旦、直七等の柑橘類については、市内の洋菓子店、カフェ等が参加して、「すくも文旦フェア2020」、「直七フェア」を開催するなど、文旦、直七のブランド化、商品開発等の取り組みを実施している。 これらの作物に加え、R3年度は、フィンガーライムの出荷が始まった。新型コロナウイルス感染症の影響でオーストラリアから苗木が輸入できない状況にあるが、接ぎ木の研修を行うなど、栽培面積の拡大に向け取り組んでいる。 こうした取り組みに加え、就農相談イベントに参加するなど、新規就農者の確保についても、取り組みを継続している。
		関連する地域AP No.6 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト			R4年度の取り組み
	水産業	No.17 宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト	県内屈指の生産量を誇る宿毛湾の養殖業を核に、生産者のもとより養殖業に直接関わる餌や種苗の販売事業者に加え、流通・加工・販売関連の事業者、さらに飲食や観光など地域の賑わいを支えている事業者などが有機的に連携し、新たな雇用の創出や交流人口の拡大につなげ、地域全体の拡大再生産を目指す。	これまでの取り組み (H28～R3)	(株)高知道水の大型水産加工施設が完成し、24名を雇用した(R3.7月時点)。その後、同社は、米国HACCPの認定を取得(R2.12月)するなど、輸出拡大に向け取り組んできたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある。 また、大月産本マグロの消費拡大に向け、高知の魚応援の店と連携し、首都圏や関西圏の飲食店や量販店等でPRを実施するとともに、H30～R元年にはモニターツアーを実施した(6回)。 加えて、地元飲食店の掘り起こしを図るため、R2.9月～R3.2月には、マグロの食を絡めたスタンプラリーを実施するとともに、R3.11月に「大月町のごちそうマルシェ」で養殖マグロの「解体実演」を行うなど、大月産本マグロの消費拡大に向け取り組んでいる。 また、R3年から宿毛新港において、タイ、プリ等の刺身用加工施設の整備が進行している。
		関連する地域AP No.7 すくも湾漁協による水産物の加工・販売 No.8 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売ほか			R4年度の取り組み
	水産業	No.18 土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト	地域の基幹産業であるメジカ加工業を核に、漁業者から飲食・観光を含めた産業クラスターの川上から川下に至る各業種が有機的に連携し、新たな雇用の創出や交流人口の拡大につなげ、地域全体の拡大再生産を目指す。	これまでの取り組み (H28～R3)	加工用原魚の安定確保、作業の効率化を図るため、クラスターの核となる水産加工施設(冷凍保管施設、残渣処理施設、共同加工施設)が完成した(H29～R3)。 (株)たけまさ商店では、R3.3月に節納屋体験観光の拠点施設が完成し、団体客をはじめオンラインを活用した体験事業について、取り組みを開始した。 土佐清水食品(株)ではメジカを原材料とした新商品「スープロス(簡単和風だしスープ)」の製造ラインの整備が完了し、R3.10月から本格的な操業を開始し、オンラインでの商談等により、販路拡大に取り組んでいる。 また、(有)ヤマアでは、地域初の焼津式焙乾設備を導入し(R3.12月)し、丸節の生産拡大を図ったところであり、積極的に商談会等に参加している。 こうしたハード整備と併せて、宗田節のブランド化、認知度向上にも取り組んでいるところである。 プロモーションの一環でロゴマークを作成し、PR資材や宗田節商品に掲載するとともに、宗田節ロードスタンプラリーや宗田節まつりの開催など、様々な誘客促進の取り組みを行っているところである。
		関連する地域AP No.14 土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進 No.15 宗田節だし加工商品の販路拡大の促進ほか			R4年度の取り組み